EIDAI

ビルトイン収納 フィルフィット 施工・取扱説明書

このたびは、ビルトイン収納フィルフィットをご採用いただきまして誠にありがとうございます。
本品は一般住宅用の製品ですので、業務用には使用しないでください。
施工の際には、必ず本説明書をお読みのうえ、正しく施工してください。
開梱時において、万一、梱包や製品にキズ等がある場合は、施工前にご購入先まで連絡をお願いいたします。
施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますので、ご了承願います。
施工完了後は、必ず本説明書をお施主様にお渡しください。

安全上のご注意

■ 表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

⚠ 注意	この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うことが想定されるかまたは物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明します。

強制	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、指示に基づく行為を強制するものです。
禁止	この図記号は、製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止するものです。

施工上のご注意

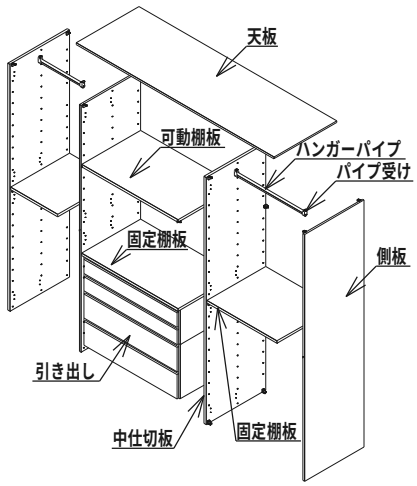
本品を、建築壁に設置する場合は、必要な位置にビスを保持できる木下地か、厚さ１２mm以上の合板、もしくは同等のビスの引き抜き強度が保持できる下地、または躯体、構造が絶対条件です。

■ 本説明書と異なった施工をされますと、事故につながる危険性があります。
■ 本説明書と異なった施工による返品または取り替えはご容赦ください。
■ 開梱後、すみやかに施工してください。長く放置しておくと、製品に変形が生じたり、キズが付いたりする恐れがあります。

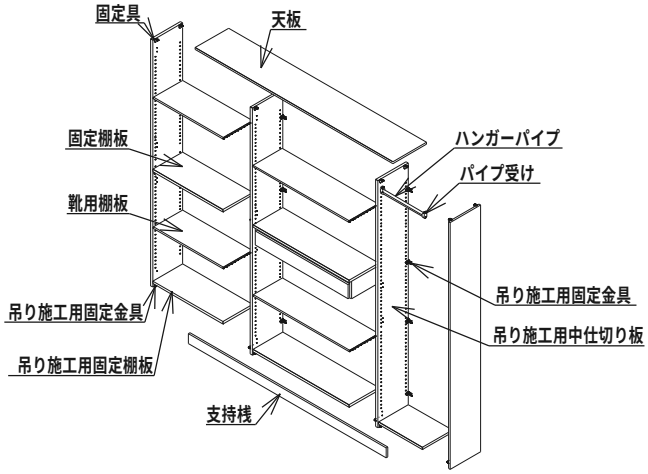
もくじ

１．製品構成図……２
２．部材・部品の確認……２～４
３．製品寸法図……４
４．施工前の準備・確認……５
５．施工手順
＜床置き施工の場合＞
1 側板の取り付け……５～６
2 天板の取り付け……６
3 中仕切り板の取り付け……７
4 固定棚板の取り付け……７
＜壁吊り施工の場合＞（Ｄ３００タイプのみ）
1 支持桟の固定……８
2 側板の取り付け……８
3 天板の取り付け……８
4 吊り施工用中仕切り板の取り付け…８
5 固定棚板の取り付け……９
＜床置き施工・壁吊り施工共通＞
1 可動棚板の取り付け……９
2 ショート側板の取り付け……１０
3 コーナー用連結金具の取り付け……１０
4 R天板の取り付け……１０
5 ワイド棚板・追加仕切り板の取り付け……１１
6 引き出しの取り付け……１２～１３
7 引き出し用オープン施工セットの取り付け……１３
8 ディスプレイ引き出し・ガラス天板の取り付け…１４～１５
9 スライドトレイの取り付け……１６
10 可動カウンターユニットの取り付け……１７～１８
11 靴用棚板の取り付け……１８
12 ハンガーパイプの取り付け……１９
13 ハンガーパイプ（高荷重用）の取り付け……１９
６．施工後の確認……１９
７．清掃と養生……１９
８．取扱説明書……２０

1．製品構成図



＜床置き施工の場合＞



＜壁吊り施工の場合＞

2．部材・部品の確認

施工前に同梱部材・部品の梱包内容をお確かめください。

※・□には色記号が入ります。

部材・部品名称 ＼ 製品　品番		側板		ショート側板	中仕切り板	吊り施工用中仕切り板	追加仕切り板
		FLT−G320／420／620※	FLT−G320／420／620※−2	FLT−GS3／4※	FLT−N320／420／620※	FLT−N320※−T	FLT−NS305／405／605※
側板		1	2				
ショート側板				1			
中仕切り板					1	1	
追加仕切り板							1
	固定具	2	4	2	6	2	2
	B0タッピング バインドφ4X14	2	4	2	4	2	
	Aタッピング トラスφ4X16	2	4	2	2	2	2
	Aタッピング バインドφ4X14				2	4	2
	Aタッピング トラスφ4×45				4		
	取り付けビス φ4．7×50	6	12	6			
	取り付けビス用 ビスキャップ	6	12	6			
	吊り施工用 固定金具					4	2
	固定金具カバー					4	2
	コーススレッド φ3．8×51					4	2
	連結金具ナット						1
	トラス小ネジ M3X18						1
	連結金具						2
	連結金具キャップ						2
	連結ボルト　φ8用						2

部材・部品名称 ＼ 製品　品番		天板			R天板	固定棚板			吊り施工用固定棚板	ワイド棚板		可動棚板 品番末尾に「−3」が付く場合は、可動棚板は3枚セットです。（ ）内は、3枚セットのときの部材・部品の数量です。			靴用棚板	支持桟
		FLT−U309／314／319※	FLT−U409／414／419※	FLT−U609／614／619※	FLT−UR33／34／44※	FLT−T34／36／38※	FLT−T44／46／48※	FLT−T64／66／68※	FLT−T34／36／38※−T	FLT−TW313／413※	FLT−TW613※	FLT−TA34／36／38※（−3）	FLT−TA44／46／48※（−3）	FLT−TA64／66／68※（−3）	FLT−TJ34／36／38□	FLT−PSJ※
天板		1	1	1												
R天板					1											
固定棚板						1	1	1	1							
ワイド棚板										1	1					
可動棚板												1（3）	1（3）	1（3）		
靴用棚板															3	
支持桟																1
	固定具				4	4	4	6		4	6					
	B0タッピング バインドφ4X14				4	4	4	6	4	4	6					
	Aタッピング トラスφ4X16				4	4	4	6		4	6					
	ビスキャップ								2							
	吊り施工用 固定金具								4							
	固定金具カバー								4							
	Aタッピング トラスφ3．5X16								4							
	連結金具ナット								2							
	トラス小ネジ M3X18								2							
	可動棚受け L／R　セット											1（3）	1（3）	1（3）		
	段付きダボ											2（6）	2（6）	4（12）	12	
	取り付けビス φ4．7×50															6
	取り付けビス用 ビスキャップ															6
	木口テープ L＝500															1

部材・部品名称 ＼ 製品　品番	引き出し浅型1段			引き出し浅型2段		引き出し深型1段		引き出し深型2段		引き出し用	オープン施工セット	ディスプレイ引き出し				ガラス天板	化粧面材	ハンガーパイプセット	ハンガーパイプセット（高荷重用）
	FLT−HSA341／361／381※	FLT−HSA441／461／481※	FLT−HSA641／661／681※	FLT−HSA442／462／482※	FLT−HSA642／662／682※	FLT−HSB441／461／481※	FLT−HSB641／661／681※	FLT−HSB442／462／482※	FLT−HSB642／662／682※	FLT−PSB463※	FLT−PSB663※	FLT−DHS441※	FLT−DHS461※	FLT−DHS641※	FLT−DHS661※	FLT−DGU44／46／64／66	FLT−P3E※	FLT−PP4／6／8	FLT−PPS04／06／08／13
引き出し側板（L）	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
引き出し側板（R）	1	1	1	1	1	1	1	1	1										
引き出し底桟	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1				
浅型引き出し本体	1	1	1	2	2														
深型引き出し本体						2	2	2	2										
オープン施工用天板										1	1								
オープン施工用側板										1	1								
ディスプレイ引き出し側板（L）												1	1	1	1				
ディスプレイ引き出し側板（R）												1	1	1	1				
ディスプレイ引き出し本体												1	1	1	1				
ディスプレイ引き出し前板												1	1	1	1				
ディスプレイ引き出し仕切り（縦）												1	4	1	4				
ディスプレイ引き出し仕切り（横）												3	3	4	4				
ガラス天板																1			
化粧面材																	1		
段付きダボ	4	4	4	4	4	4	4	4	4			4	4	4	4				
連結ボルト φ5用	4	4	4	4	4	4	4	4	4			4	4	4	4				
コーススレッド φ3．8×32	8	8	8	8	8	8	8	8	8			8	8	8	8				
戸当たり	4	4	4	4	4	4	4	4	4										
固定具										10	10								
B0タッピング バインドφ4X14										8	8								
Aタッピング トラスφ4X16										6	6								
Aタッピング バインドφ4X14										2	2								
Aタッピング トラスφ4×45										4	4								
レール L／Rセット												1	1	1	1				
Aタッピング 皿φ4×14												6	6	6	6				
Aタッピング 皿φ3．5×12												6	6	6	6	2			4
皿小ネジ M4×25												2	2	2	2				
ワッシャ												2	2	2	2				
ビスキャップ												2	2	2	2				
受け金具																2			
ハンガーパイプ 楕円型　15×30																		1	
パイプ受け																		2	
木ビス 丸φ3．5X10																		4	
ハンガーパイプ 丸型　φ32																			1
パイプ受け（U型）																			2

部材・部品名称 ＼ 製品　品番	スライドトレイ		可動カウンター ユニット
	FLT−ST443／463／483※	FLT−ST643／663／683※	FLT−CC443／463※
スライドトレイ側板（L）	1	1	
スライドトレイ側板（R）	1	1	
スライドトレイ本体	3	3	
スライドトレイ桟木	3	3	
可動カウンター側板（L）			1
可動カウンター側板（R）			1
可動カウンター扉			1
可動カウンター地板			1
可動カウンター棚板			1
段付きダボ	4	4	
コーススレッド φ3．8×32	8	8	4
レール L／Rセット	3	3	
Aタッピング 皿φ4×14	12	12	
ライン取っ手	3	3	
Aタッピング トラスφ3．5×14	15	15	
フロントブロック	6	6	
Aタッピング 皿φ3．5×14	12	12	20
ステー（プレート、座金入り）			2
ドロップヒンジ			2
ドロップヒンジ用 カバーセット			2
ワッシャ			4
ビスキャップ			4
固定具			8
B0タッピング バインドφ4X14			8
Aタッピング トラスφ4X16			8
戸当たり			2

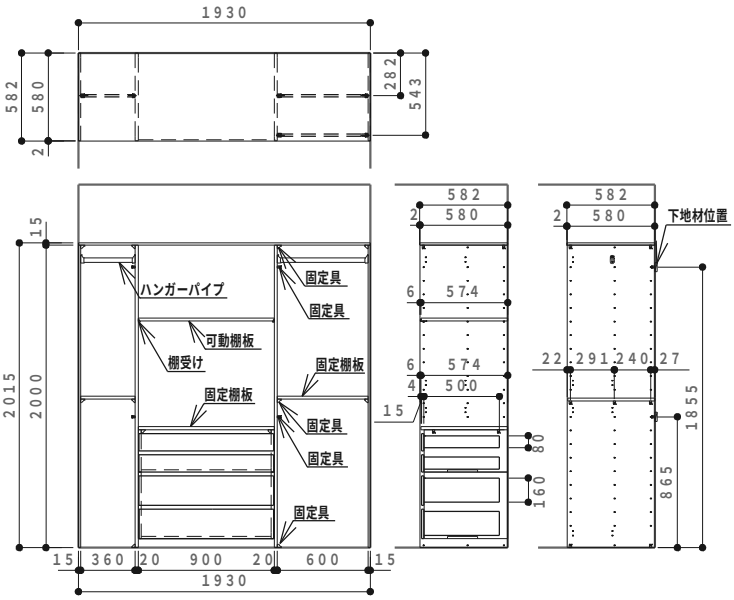
部材・部品名称 ＼ 製品　品番		コーナー用連結金具 FLT−PR3	FLT−PR4	FLT−PR6	補強金具セット FLT−PG −◎
	コーナー用連結金具	1	1	1	
	パーチビス 皿φ3．5X16	6	6	8	
	固定具				2
	B0タッピング バインドφ4X14				2
	Aタッピング トラスφ4X16				2
	Aタッピング トラスφ4×45				2
	木口テープ L=600				1

部材・部品名称 ＼ 製品　品番		吊り補強金具セット FLT−PT−◎
	吊り施工用固定金具	4
		4
	Aタッピング バインドφ4X14	4
	コーススレッド φ3．8×51	4
	ビスキャップ	2
	連結金具ナット	2
	トラス小ネジ M3X12	2

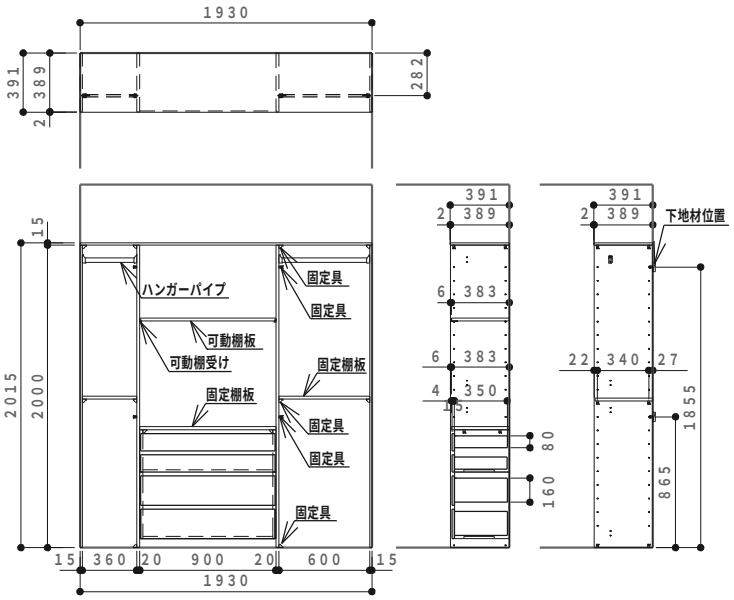
◎には色記号が入ります。

3．製品寸法図

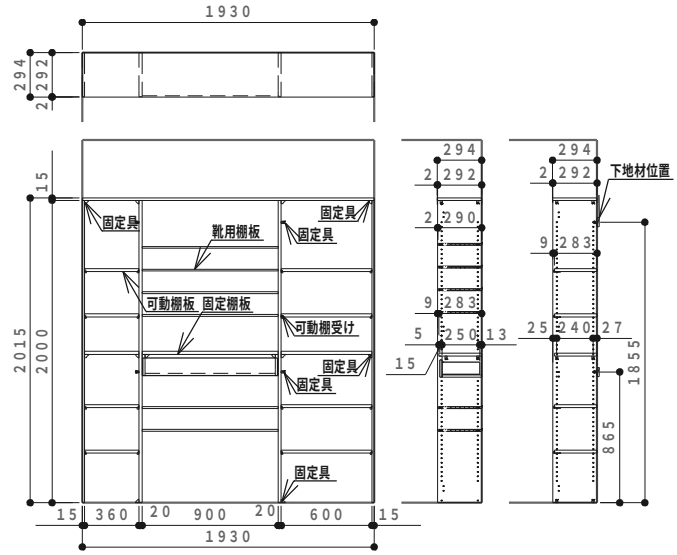
奥行き600タイプ（床置き施工の場合）



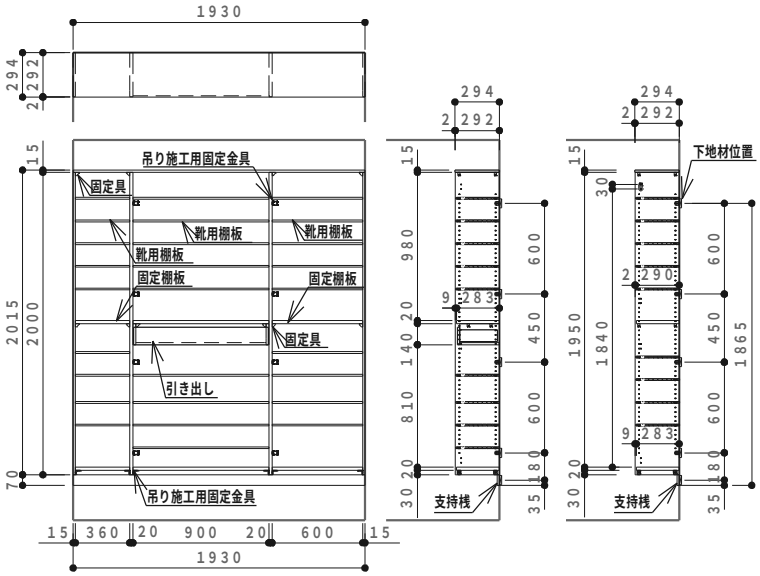
奥行き400タイプ（床置き施工の場合）



奥行き300タイプ（床置き施工の場合）



奥行き300タイプ（壁吊り施工の場合）



4．施工前の準備・確認

■ 施工前に

1．壁・床の水平・垂直を確認してください。
2．壁の下地材の位置を確認してください。（下図）

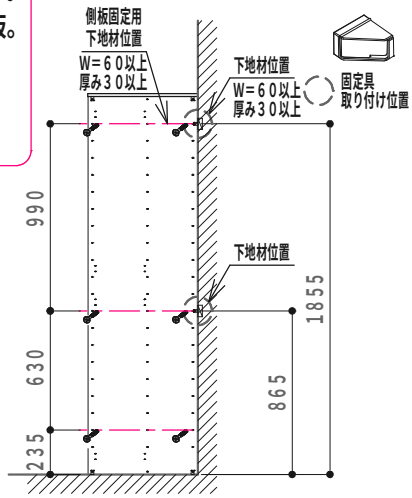
■ 下地材および下地材位置の確認

強制	本品は壁・床に各部材をビス止めして使用します。 本品を取り付ける壁は充分な強度を確保してください。 （３０㎜厚以上の木下地、または１２㎜厚以上の合板。もしくは同等のビス保持力のある下地。） 強度の不充分な壁に取り付けると、転倒・落下してケガをする恐れがあります。

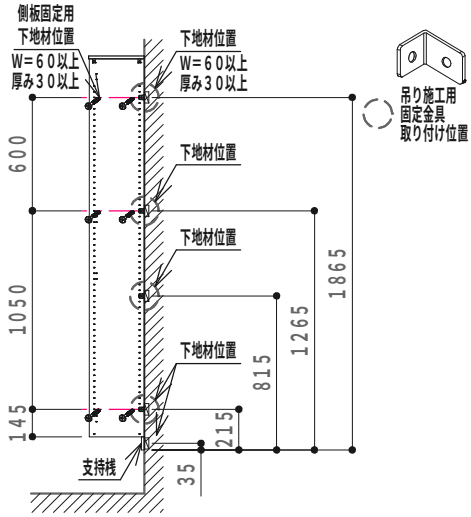
お願い　固定金具や固定棚板、パイプ受けの取り付け位置を避けてビスを取り付けてください。

■ 壁吊り施工の場合

禁止	奥行き４００、６００タイプでは、壁吊り施工はできません。 壁吊り施工は、奥行き３００タイプのみ可能です。
強制	壁吊り施工する場合は、必ず支持桟を取り付け、その上に載せて壁に吊り施工用固定金具で固定してください。 支持桟を取り付けずに、吊り施工用固定金具のみで固定すると、転倒・落下してケガをする恐れがあります。



奥行き３００・４００・６００タイプ（床置き施工）



奥行き３００タイプ（壁吊り施工）

5．施工手順

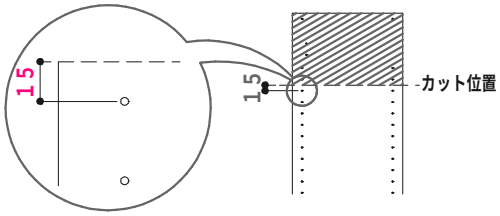
壁吊り施工の場合は８ページから始めてください。
床置き施工・壁吊り施工で共通の部材は９ページから始まります。

＜床置き施工の場合＞

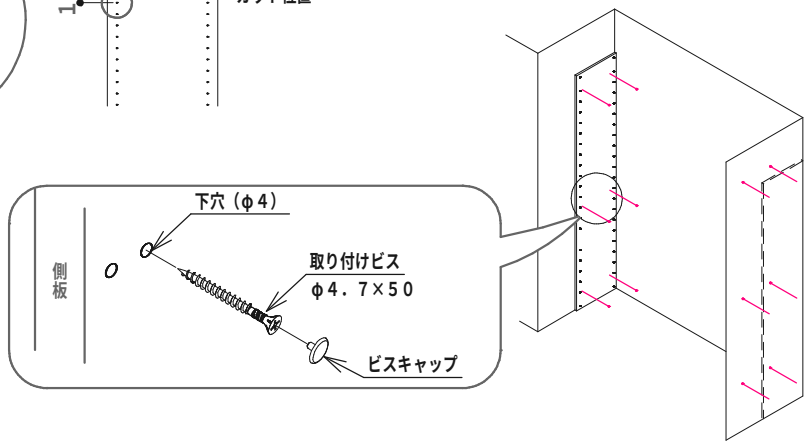
施工手順　１　側板の取り付け

※ショート側板の取り付けは１０ページを参照してください。

1．側板の高さを変更する場合はダボ穴中心より１５mm上の高さでカットしてください。

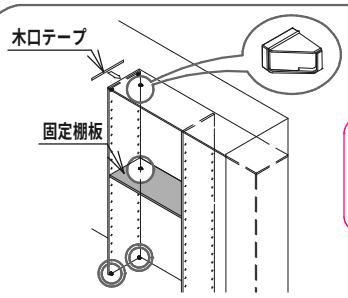


2．壁下地の位置を確認して側板に下穴（φ４）をあけ、同梱の取り付けビスにて６カ所固定してください。



お願い　固定金具や固定棚板、パイプ受けの取り付け位置を避けてビスを取り付けてください。

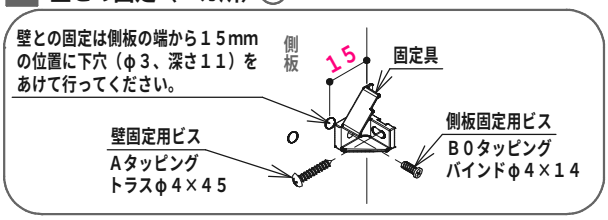
片側オープンの場合



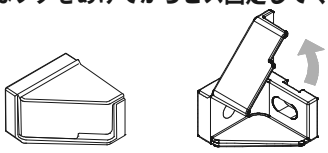
片側オープンで使用する場合は、側板を補強金具セット（ＦＬＴ－ＰＧ－◎　２セット　別途手配）で図のように４カ所固定してください。
※天板の木口は化粧されていません。同梱の木口テープをゴム系接着剤（現場調達）で接着してください。

強制　片側オープンで使用する場合には、必ず固定棚板を取り付けてください。
固定棚板を取り付けないと固定が不充分となり転倒または落下してケガをする恐れがあります。

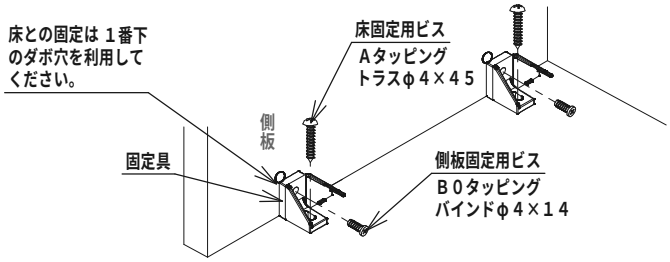
壁との固定（２カ所）○



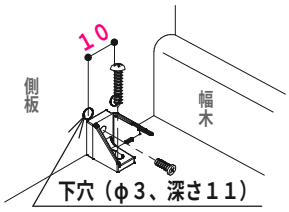
固定具はフタをあけてからビス固定してください。



床との固定（２カ所）◎



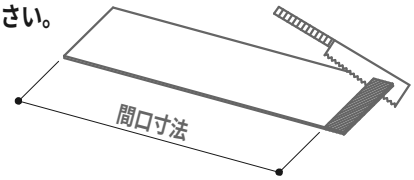
側板を固定する壁に幅木を取り付ける場合は、奥のダボ穴から手前に１０mmの位置に下穴（φ３、深さ１１）をあけ、固定具を取り付けてください。



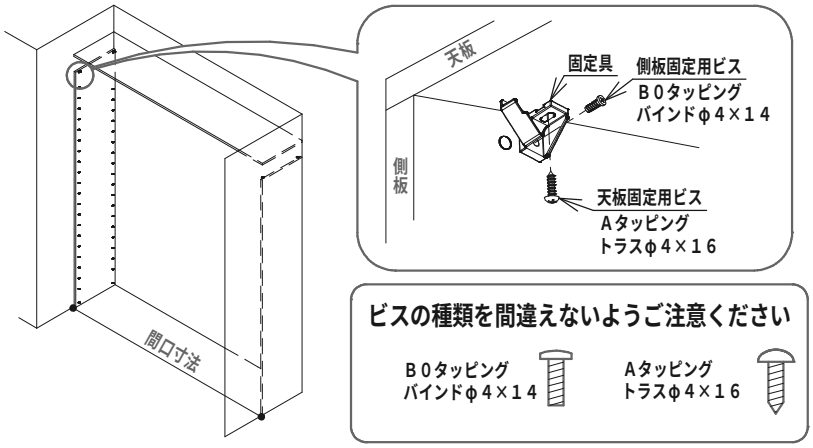
施工手順　２　天板の取り付け

※Ｒ天板の取り付けは１０ページを参照してください。

１．天板を間口に合わせてカットしてください。



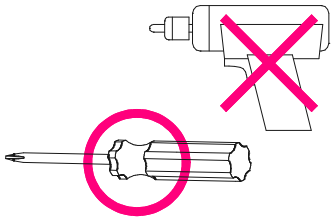
２．側板の一番上のダボ穴にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けたあと、天板をＡタッピングにて４カ所固定してください。



ビスの種類を間違えないようご注意ください

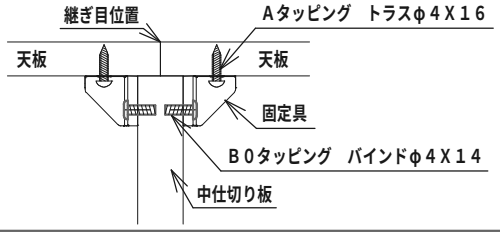
Ｂ０タッピング　バインドφ４×１４　　Ａタッピング　トラスφ４×１６

強制　Ｂ０タッピングの取り付けには手回しドライバーを使用してください。
電動式ドライバーで強く締め過ぎると、Ｂ０タッピングが空回りして固定が不充分となり転倒または落下してケガをする恐れがあります。



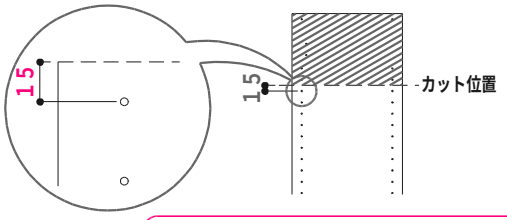
強制　Ａタッピングを取り付ける際は締め付けすぎないでください。
また、下穴をあけるなどしてＡタッピングをまっすぐ取り付けてください。
固定具が変形し、フタがきちんと閉まらなくなる恐れがあります。

２枚の天板を継ぐ場合



間口が１９４０mmを越え天板を継ぐ場合は、継ぎ位置が中仕切り板の中心にくるようにし、図のように中仕切り板の両面から固定してください。

施工手順　3　中仕切り板の取り付け



1．中仕切り板の高さを変更する場合はダボ穴中心より
　１５mm上の高さでカットしてください。

2．中仕切り板を取り付ける位置に墨出ししてください。

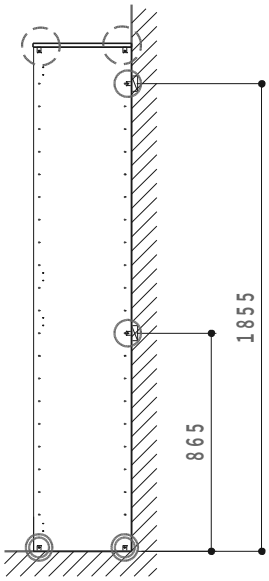
3．中仕切り板の一番上と一番下のダボ穴にＢ０タッピング
　を使って固定具を４カ所取り付けてください（下図Ａ、Ｃ）

4．中仕切り板に下穴（φ３、深さ５）をあけ、Ａタッピングを使って
　固定具を２カ所取り付けてください（下図Ｂ）

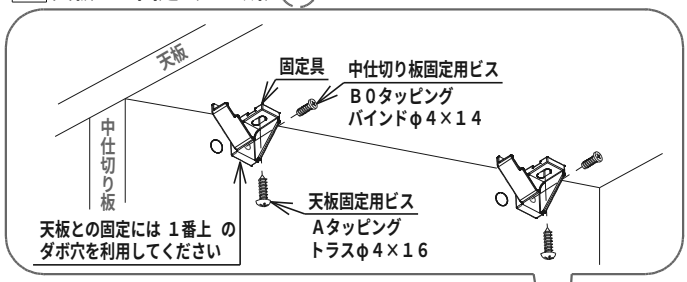
5．墨出しした位置に中仕切り板を設置し、床・壁・天板の順に
　固定してください。

お願い　中仕切り板は必ず壁・床に対して垂直になるように取り付けてから、床・壁・天板の順に固定用ビスにて固定してください。

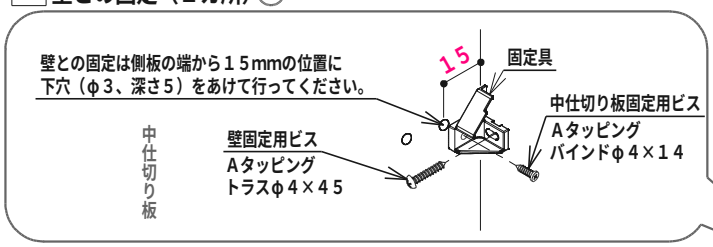
固定具取り付け位置



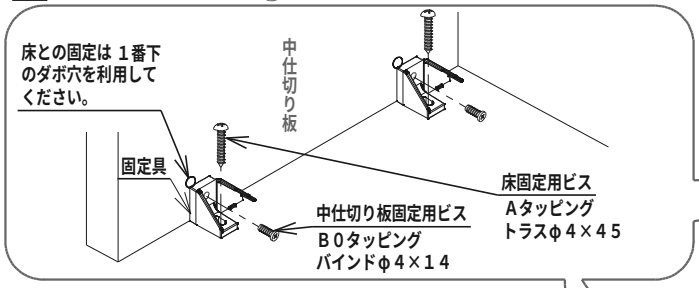
Ｃ 天板との固定（２カ所）◯



Ｂ 壁との固定（２カ所）◯



Ａ 床との固定（２カ所）◎



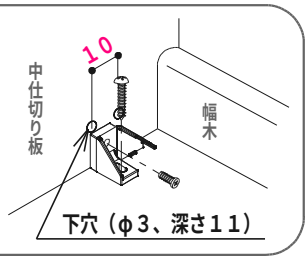
ビスの種類を間違えないようご注意ください

Ｂ０タッピング
バインドφ４×１４

Ａタッピング
バインドφ４×１４

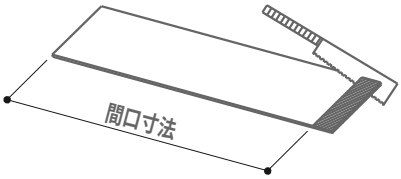
Ａタッピング
トラスφ４×１６

中仕切り板を固定する壁に
幅木を取り付ける場合は、
奥のダボ穴から手前に１０mmの
位置に下穴（φ３、深さ１１）を
あけ、固定具を取り付けてください。



施工手順　4　固定棚板の取り付け

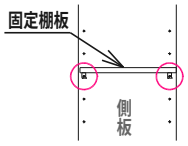
1．固定棚板を間口に合わせてカットしてください。



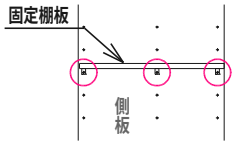
2．側板・中仕切り板のダボ穴にＢ０タッピングを使って固定具を
　取り付けたあと、固定棚板をＡタッピングにて固定してください。

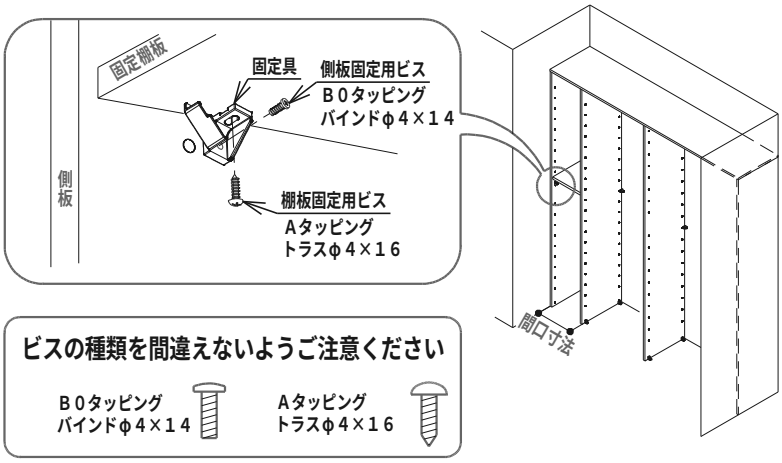
固定具取り付け位置

Ｄ３００・４００タイプの場合



Ｄ６００タイプの場合





ビスの種類を間違えないようご注意ください

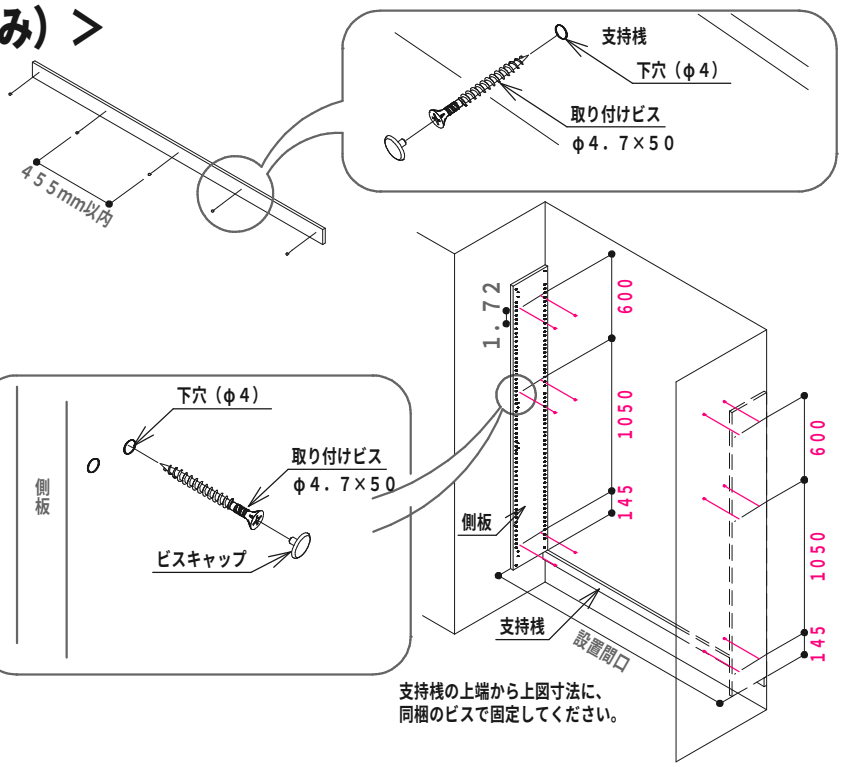
Ｂ０タッピング
バインドφ４×１４

Ａタッピング
トラスφ４×１６

<壁吊り施工の場合（Ｄ３００タイプのみ）>

施工手順　1　支持桟の固定

1．支持桟を設置間口に合わせてカットしてください。
2．取り付けビスの間隔が４５５mm以内になるように
　　下穴（φ４）をあけてください。
3．支持桟の水平を確認し取り付けビスにて固定してください。

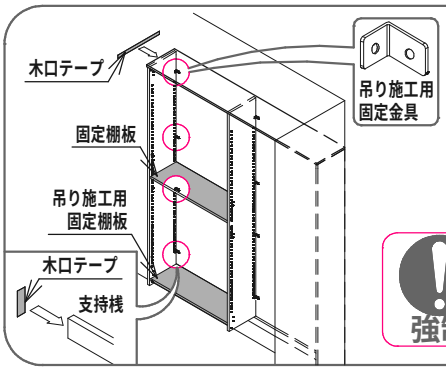


施工手順　2　側板の取り付け

1．高さを変更する場合は５ページの施工手順１
　　「側板の取り付け」を参照してカットしてください。
2．壁下地の位置を確認して側板を支持桟に載せ、
　　側板に下穴（φ４）をあけ、同梱の取り付けビスにて
　　側板に６カ所固定してください。

お願い　固定金具や固定棚板、パイプ受けの取り付け位置を避けてビスを取り付けてください。

片側オープンの場合<壁吊り施工の場合>



片側オープンで使用する場合には、側板を吊り補強金具セット（ＦＮＣ－ＰＴ－◎　１セット別途手配）に同梱の吊り施工用固定金具で図のように４カ所固定してください。
※固定位置はこのページの施工手順４「吊り施工用中仕切り板の取り付け」を参照してください。
※天板・支持桟の木口は化粧されていません。同梱の木口テープをゴム系接着剤（現場調達）で接着してください。

強制　片側オープンで使用する場合には、必ず固定棚板・吊り施工用固定棚板を取り付けてください。固定棚板を取り付けないと固定が不充分となり転倒または落下してケガをする恐れがあります。

施工手順　3　天板の取り付け

６ページの施工手順２「天板の取り付け」を参照して取り付けてください。

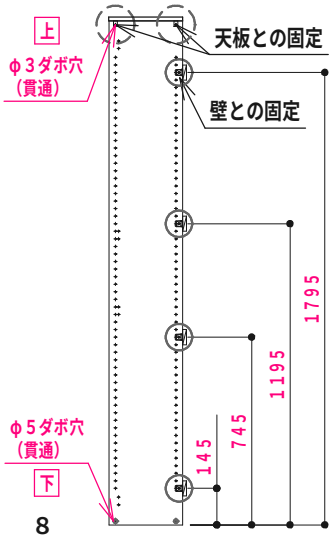
施工手順　4　吊り施工用中仕切り板の取り付け

1．高さを変更する場合は７ページの施工手順３「中仕切り板の取り付け」を参照してカットしてください。
2．中仕切り板を支持桟に載せ、吊り施工用固定金具で壁に４カ所固定してください。
　※吊り施工用中仕切り板の上下を間違えないようご注意ください。

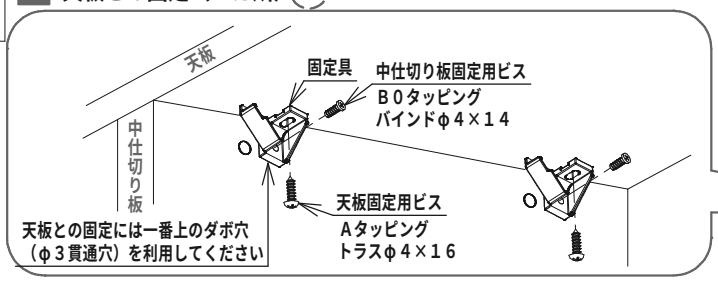
ビスの種類を間違えないようご注意ください

Ｂ０タッピング	Ａタッピング	Ａタッピング
バインドφ４×１４	バインドφ４×１４	トラスφ４×１６

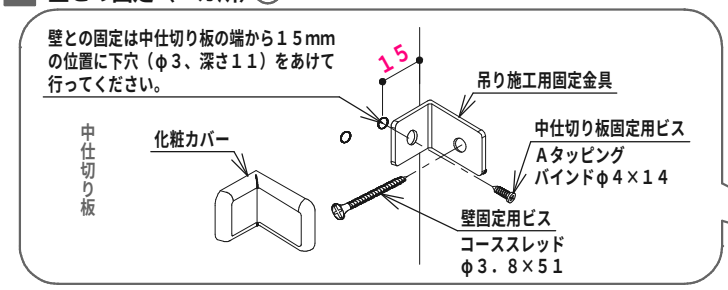
吊り施工用固定金具、固定具取り付け位置

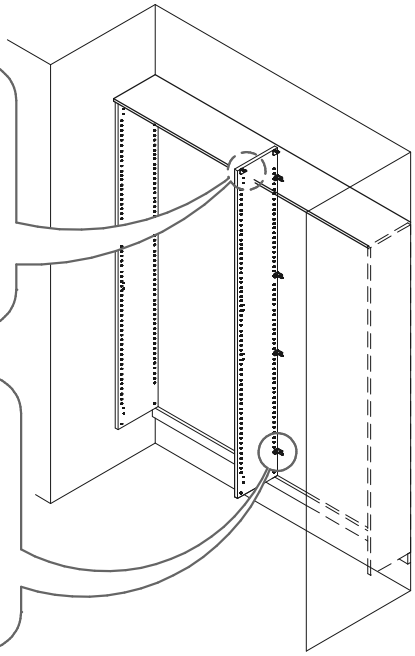


天板との固定（２カ所）◯



壁との固定（４カ所）◯



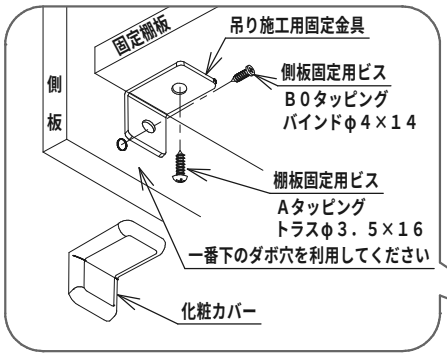


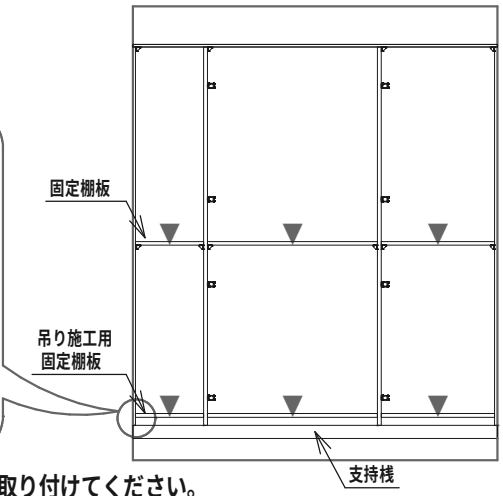
施工手順　5　固定棚板の取り付け

各列の中央には「固定棚板」、一番下には「吊り施工用固定棚板」をそれぞれ使用してください。

強制

壁吊り施工する場合には、固定棚板を右図のように各列の中央と一番下に必ず取り付けてください。
固定棚板を取り付けないと転倒または落下によりケガをする恐れがあります。

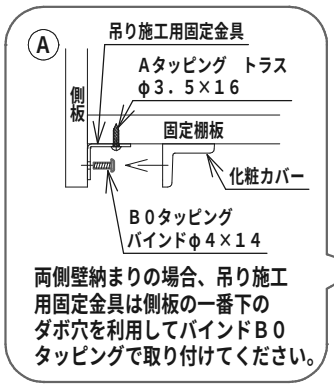




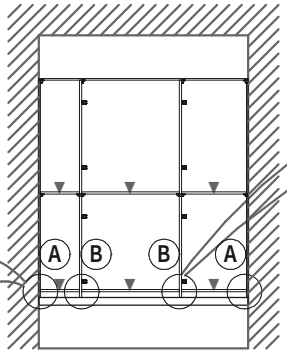
▼ 固定棚板の取り付け位置

1．各列の中央の「固定棚板」は、上図と７ページの施工手順４「固定棚板の取り付け」を参照して取り付けてください。
2．各列の一番下の「吊り施工用固定棚板」は、下図の納め方に合わせて取り付けてください。

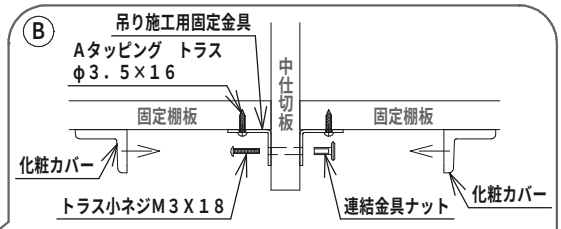
■ 両側壁納まりの場合



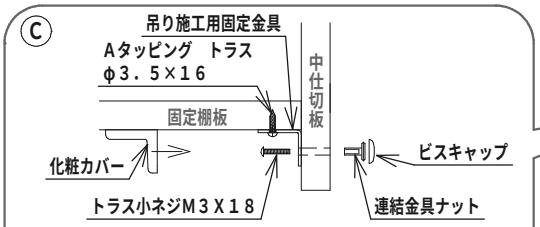
両側壁納まりの場合、吊り施工用固定金具は側板の一番下のダボ穴を利用してバインドＢ０タッピングで取り付けてください。



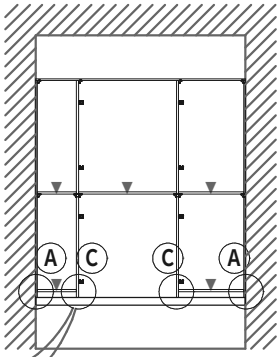
▼ 固定棚板の取り付け位置



固定棚板を連続して取り付けるときは、吊り施工用固定金具を中仕切り板の一番下のダボ穴（φ５貫通穴）に　連結金具ナットとトラス小ネジ（Ｍ３Ｘ１８）で固定してください。



中央の列の一番下の固定棚板をつけない場合は、Ｂ０タッピングを使わず、吊り施工用固定金具を連結金具ナットとトラス小ネジ（Ｍ３Ｘ１８）で固定してください。



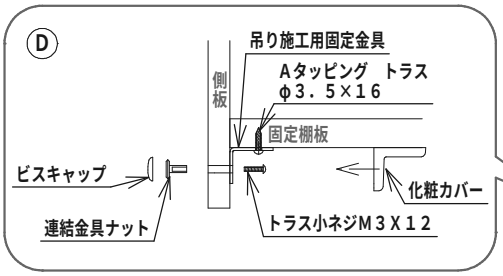
▼ 固定棚板の取り付け位置

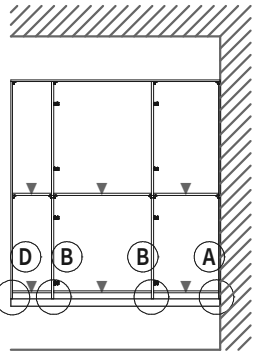
ビスの種類を間違えないようご注意ください

Ｂ０タッピング
バインドφ４×１４

Ａタッピング
トラスφ３．５×１６

■ 片側オープン納まりの場合

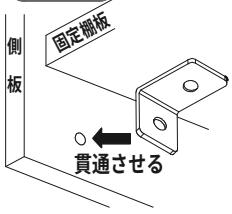




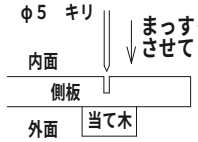
▼ 固定棚板の取り付け位置

片側オープンの場合は側板の一番下のダボ穴（半貫通）を現場にて貫通させ、Ｂ０タッピングは使わずに吊り施工用固定金具を連結金具ナットとトラス小ネジ（Ｍ３Ｘ１２）で固定してください。

お願い



側板外面に当て木（平滑なもの）をして、φ５のキリを使用して穴を貫通させてください。
当て木をしないとバリが出たり、表面がめくれる恐れがあります。



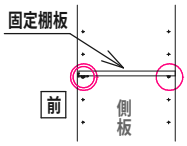
＜床置き施工・壁吊り施工共通＞

施工手順　1　可動棚板の取り付け

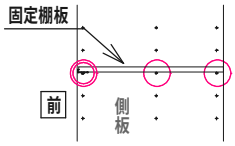
1．可動棚板を間口に合わせてカットしてください。
2．前のダボ穴に可動棚受け、後ろのダボ穴に段付きダボをそれぞれ差し込み、可動棚板を載せてください。

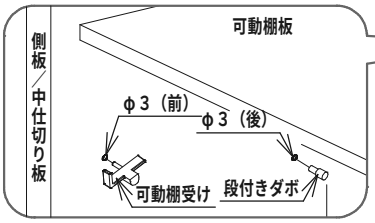
可動棚受け ◎　・段付きダボ ○　取り付け位置

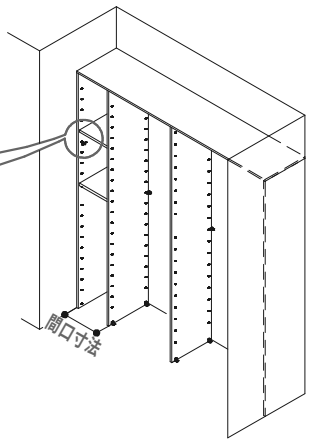
Ｄ３００・４００タイプの場合



Ｄ６００タイプの場合







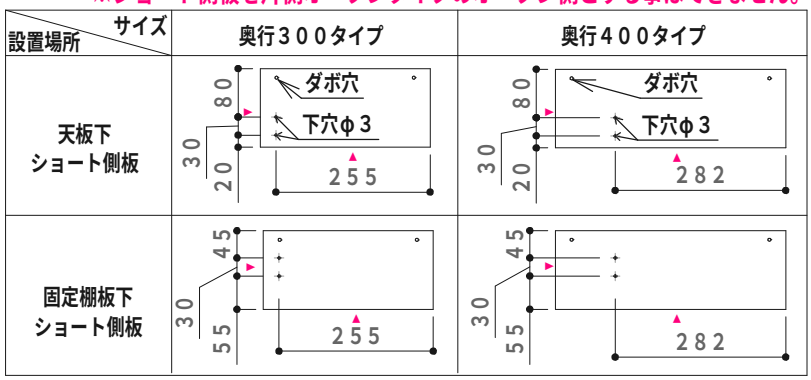
施工手順　2　ショート側板の取り付け

※ショート側板は側板の代わりとして使用できます。
※ショート側板を片側オープンタイプのオープン側とする事はできません。

1．ハンガーパイプを取り付ける場合、ショート側板の指定位置に下穴φ３をあけ、パイプ受けを取り付けてください。（パイプの取り付け方法は１９ページを参照してください。）

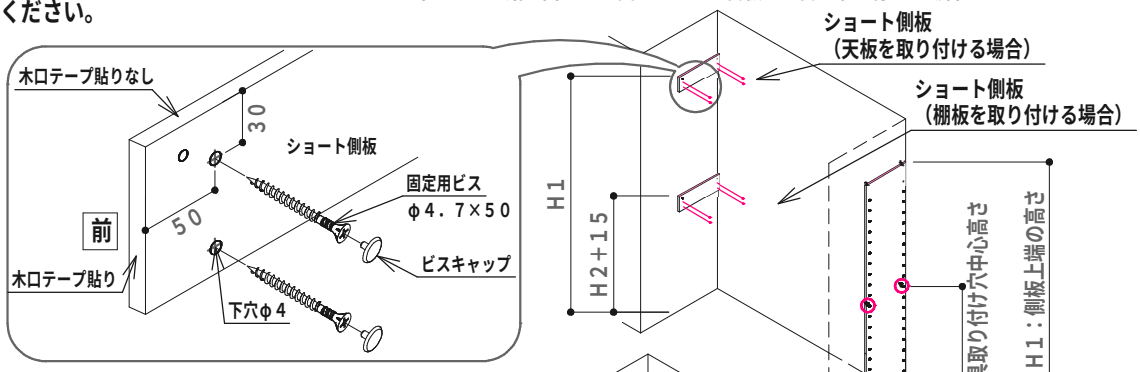
強制　ハンガーパイプを取り付ける場合、側板のパイプ受け取り付け用下穴（φ３、３０ピッチ）の直上のダボ穴を使用して天板・固定棚板を取り付けてください。

2．天板・固定棚板の取り付け位置（右図）にショート側板の上端高さを合わせ、指定の位置に下穴φ４をあけ、固定用ビスで壁に４点固定してください。



▲は木口テープ貼り面　上図はショート側板を左側に取り付ける場合です。

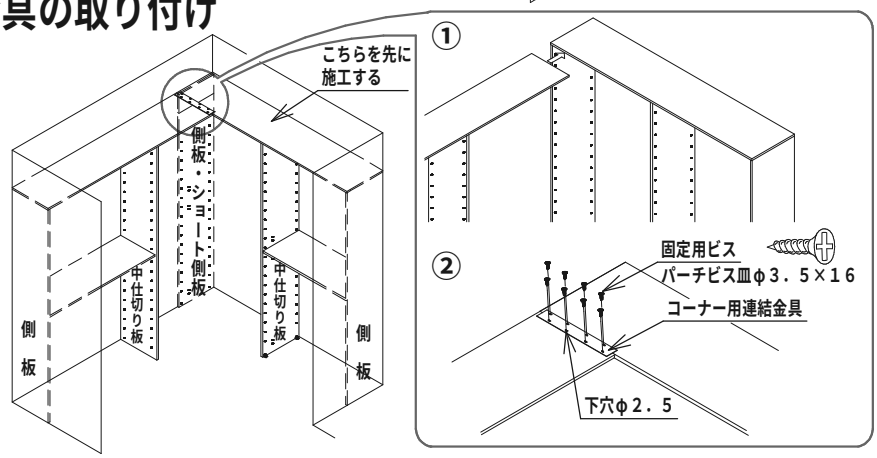
お願い　ショート側板は水平に取り付けてください。



3．ショート側板のダボ穴にＢ０タッピングを使って固定具を取り付け、天板・固定棚板をＡタッピングにて固定してください。

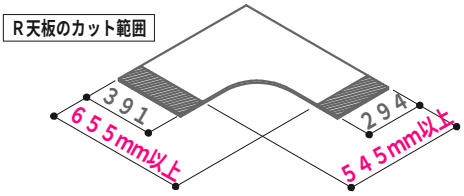
施工手順　3　コーナー用連結金具の取り付け

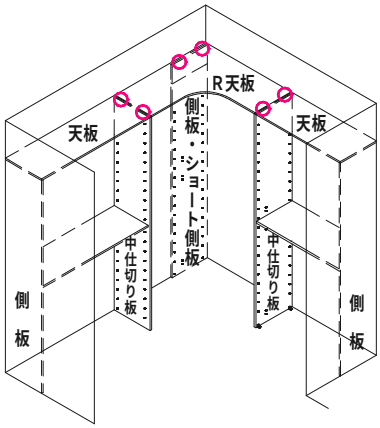
1．Ｌ字型もしくはコの字型プランの場合、両側に側板がある方を先に施工してください。
2．その後に、側板が１枚の方を施工し２枚の天板をコーナー用連結金具で固定してください。（天板に下穴φ２．５をあけ、固定用ビスにて固定してください。）



施工手順　4　Ｒ天板の取り付け

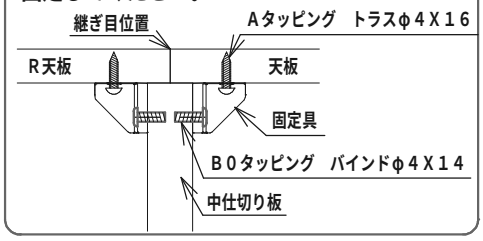
1．Ｒ天板を取り付ける、側板・ショート側板・中仕切り板を施工してください。
2．Ｒ天板を間口に合わせてカットしてください。
3．その後、側板・ショート側板・中仕切り板の一番上のダボ穴にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けた後、Ｒ天板をＡタッピングにて６カ所固定してください。（右図○部）





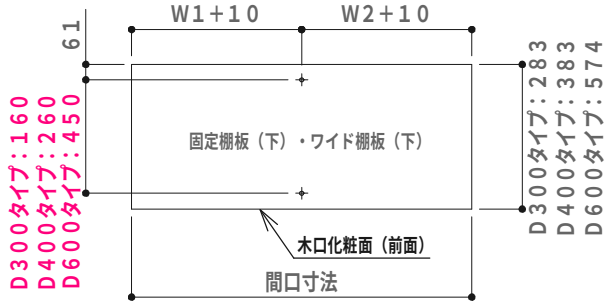
Ｒ天板を天板と継ぐ場合

継ぎ位置が中仕切り板の中心にくるようにし、図のように中仕切り板の両面から固定してください。



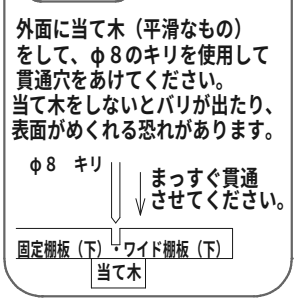
施工手順　5　ワイド棚板・追加仕切り板の取り付け

1．固定棚板（下）・ワイド棚板（下）を間口に合わせてカットしたあと、下図を参照して追加仕切り板の取り付け位置にφ８のキリで貫通穴をあけてください。



お願い

外面に当て木（平滑なもの）をして、φ８のキリを使用して貫通穴をあけてください。
当て木をしないとバリが出たり、表面がめくれる恐れがあります。



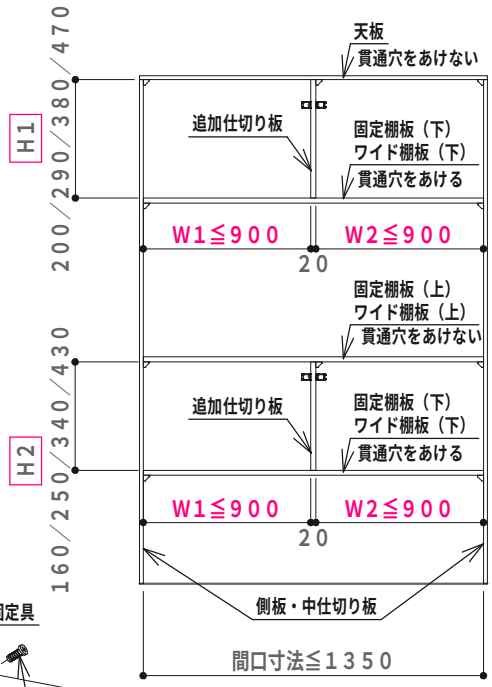
強制

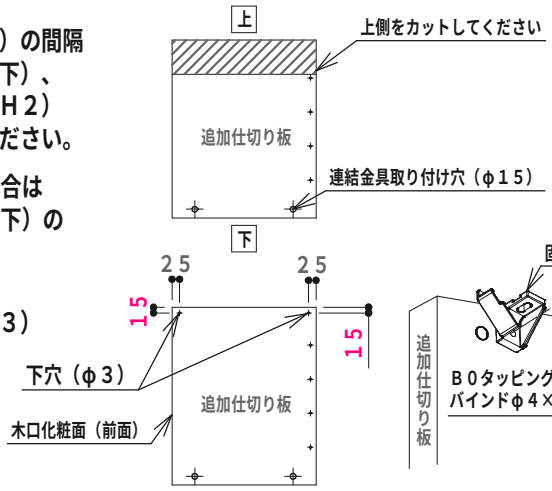
ワイド棚板は、必ず追加仕切り板で天板、またはワイド棚板と連結してください。
強度が不充分となり、ワイド棚板が破損・落下してケガをする恐れがあります。

2．天板と固定棚板（上）・ワイド棚板（上）を側板・中仕切り板に取り付けてください。
取り付け方法は６ページの施工手順２「天板の取り付け」、７ページの施工手順４「固定棚板の取り付け」を参照してください。

3．天板と固定棚板（下）・ワイド棚板（下）の間隔（右図Ｈ１）または固定棚板（上）と（下）、ワイド棚板（上）と（下）の間隔（右図Ｈ２）に合わせて追加仕切り板をカットしてください。

※側板・中仕切り板をカットしている場合は天板と固定棚板（下）・ワイド棚板（下）の間隔が右図のＨ２になります。



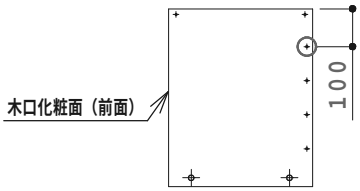


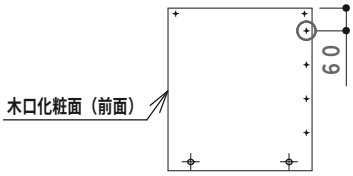
4．下図を参照し、追加仕切り板に下穴（φ３）をあけ、固定具を取りつけてください。

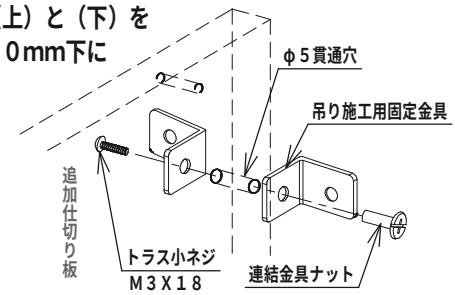
5．連結金具ナットとトラス小ネジ（Ｍ３Ｘ１８）を使用し、追加仕切り板のφ５貫通穴を利用して吊り施工用固定金具を取り付けてください。

■ 天板と固定棚板（下）・ワイド棚板（下）を連結する場合、追加仕切り板の上端から１００mm下にあるφ５貫通穴を使用してください。

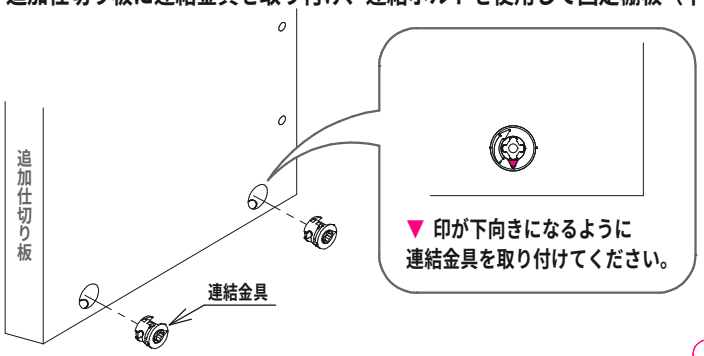
■ 固定棚板（上）と（下）・ワイド棚板（上）と（下）を連結する場合追加仕切り板の上端から６０mm下にあるφ５貫通穴を使用してください。

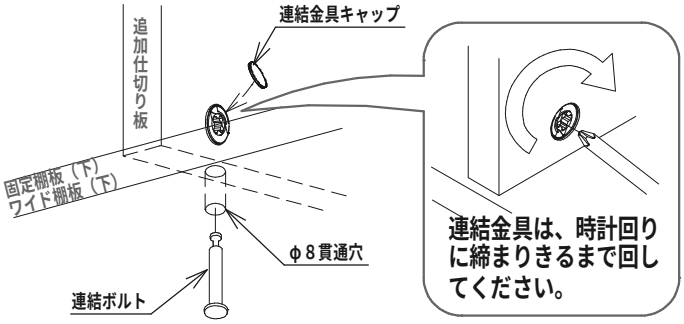






6．追加仕切り板に連結金具を取り付け、連結ボルトを使用して固定棚板（下）・ワイド棚板（下）と連結してください。

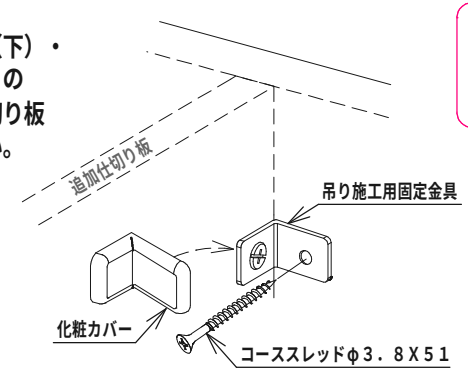




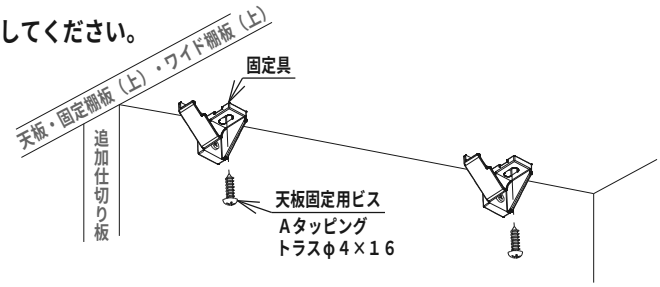
強制

連結金具を締め付ける際は、必ず **手回しドライバー** を使用してください。電動ドライバーで締め付けると連結金具が破損する恐れがあります。

7．天板・固定棚板（上）（下）・ワイド棚板（上）（下）の水平を確認し、追加仕切り板を壁に固定してください。



8．追加仕切り板を天板・固定棚板（上）・ワイド棚板（上）に固定してください。



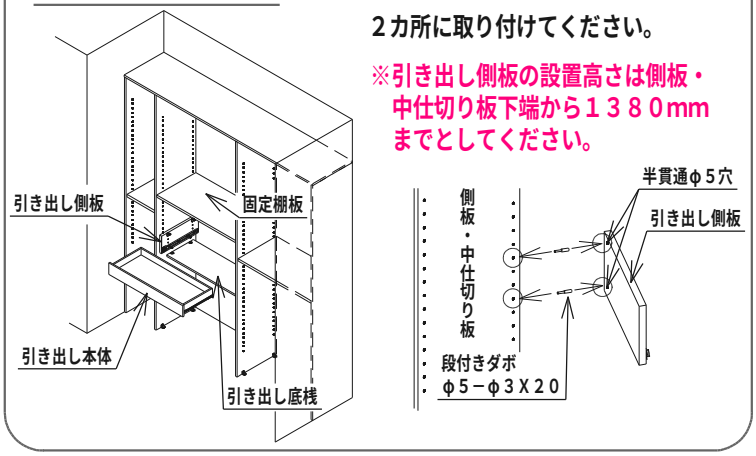
施工手順　6　引き出しの取り付け

1．引き出し側板の裏面の半貫通のφ５の穴に段付きダボ（φ５－φ３Ｘ２０）を差し込み、側板・中仕切り板のφ３の穴２カ所に取り付けてください。

引き出し浅型１段の場合

側板・中仕切り板のダボ穴
２カ所に取り付けてください。

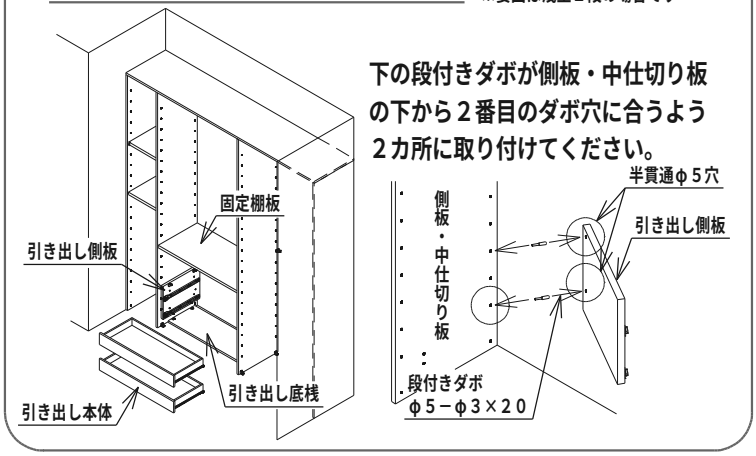
※引き出し側板の設置高さは側板・中仕切り板下端から１３８０mm までとしてください。



引き出し深型１段／浅型・深型２段の場合

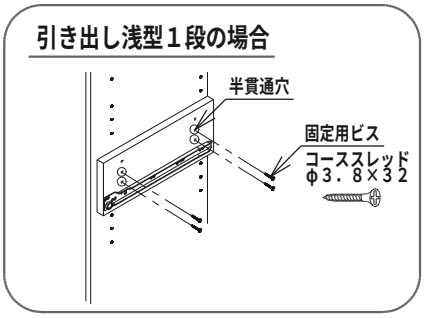
※姿図は浅型２段の場合です

下の段付きダボが側板・中仕切り板の下から２番目のダボ穴に合うよう２カ所に取り付けてください。

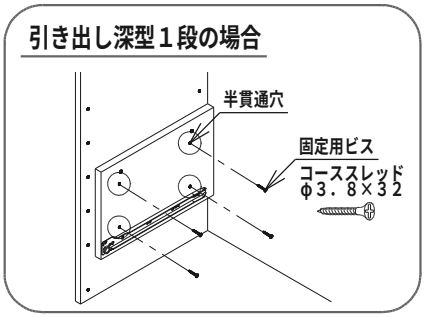


2．引き出し側板が水平になっているのを確認し、半貫通穴（φ３）から側板・中仕切り板に固定用ビスで固定してください。

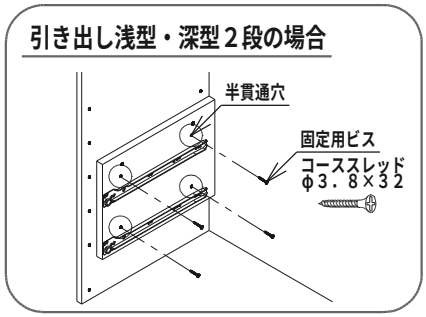
引き出し浅型１段の場合



引き出し深型１段の場合



引き出し浅型・深型２段の場合



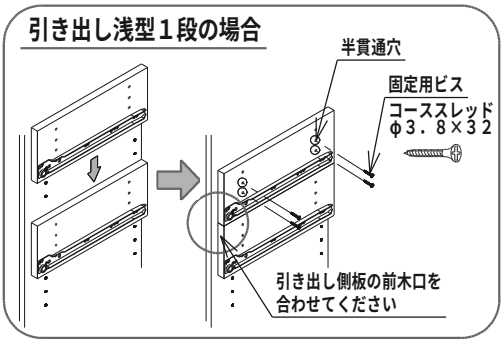
■引き出し側板を２セット以上重ねて設置する場合

次の引き出し側板は、初めに取り付けた引き出し側板に載せ、前木口を合わせて固定用ビスで固定してください。

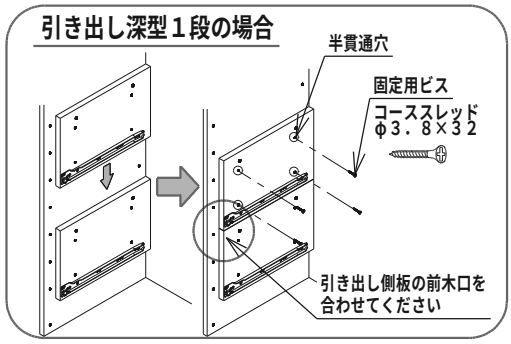
（段付きダボによる仮固定は必要ありません）

※引き出し側板の設置高さは側板・中仕切り板下端から１３８０mmまでとしてください。

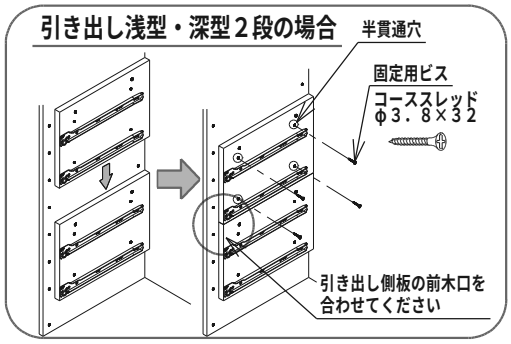
引き出し浅型１段の場合



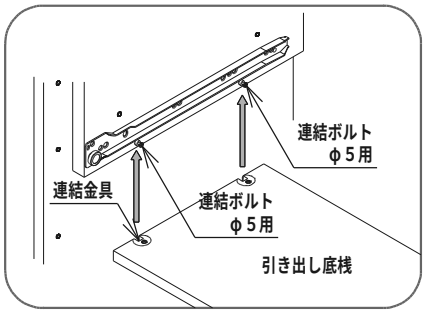
引き出し深型１段の場合

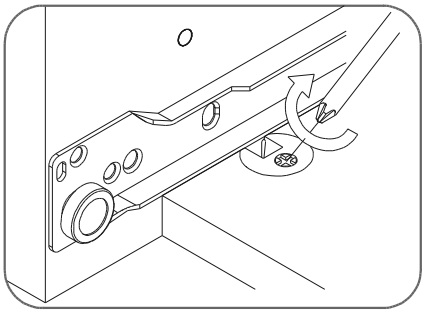


引き出し浅型・深型２段の場合



3．引き出し側板のレール下のφ５穴に連結ボルトφ５用を取り付け、引き出し底桟を下から差し込み、引き出し底桟に取り付け済みの連結金具にて固定してください。　※引き出し浅型・深型１段、引き出し浅型・深型２段共通





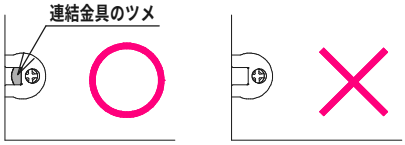
※底桟は引き出し１セットごとに１枚取り付けてください。

※連結金具は、時計回りに締まりきるまで回してください。

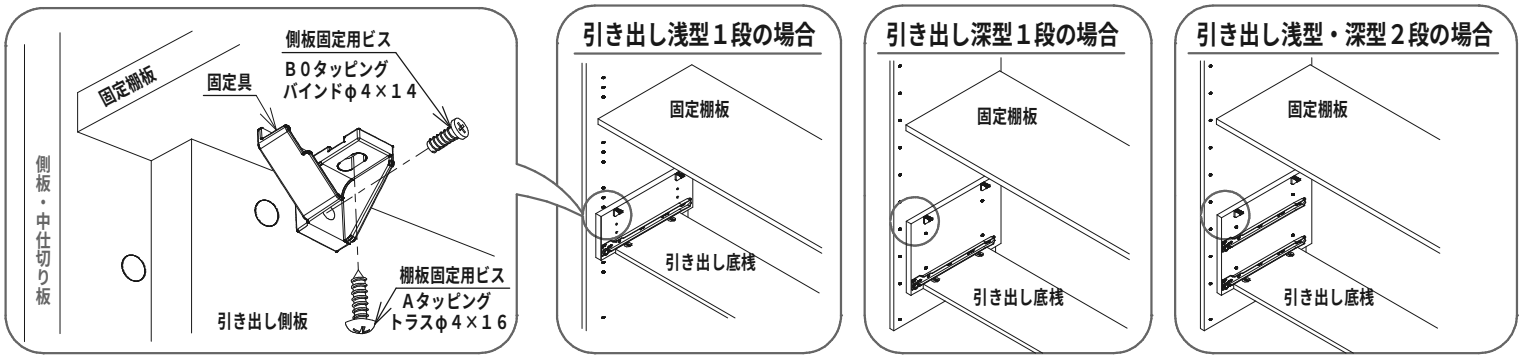
お願い　連結金具を固定する際には、手回しドライバーをななめに差し込んでください。
連結金具が破損する恐れがあります。

強制

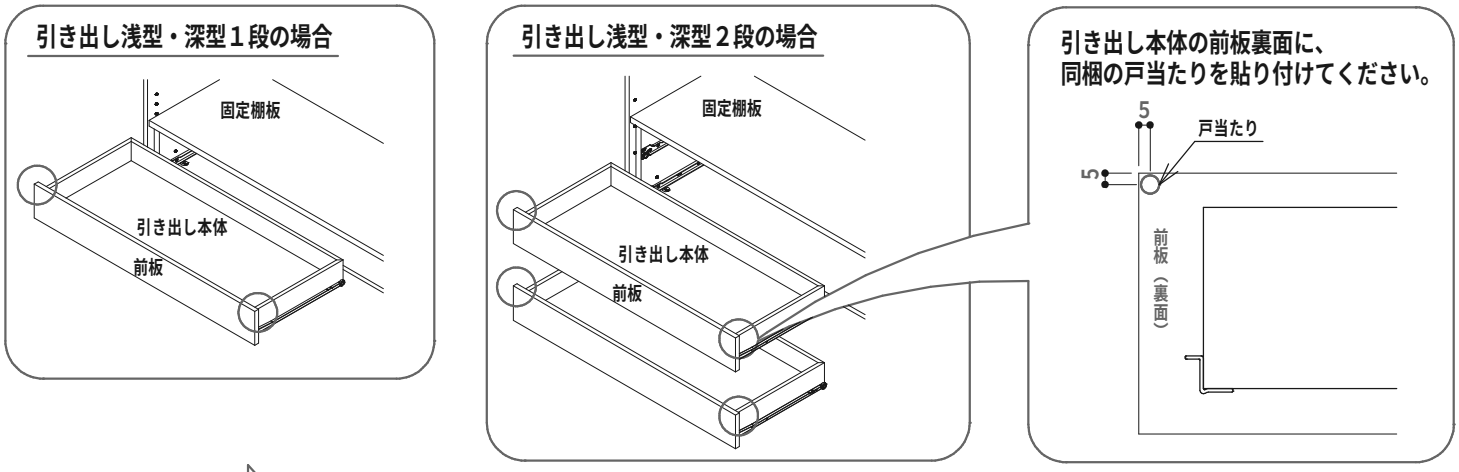
連結金具固定後に連結金具のツメが出ていることを確認してください。
ツメが出て固定されていないと、引き出し底桟が落下してケガをする恐れがあります。



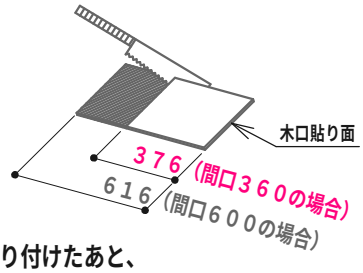
4．引き出し側板の上のダボ穴（φ３）にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けたあと、固定棚板をＡタッピングにて固定してください。



5．引き出し本体の前板裏面に戸当たりを貼り付け、スライドレールにセットしてください。

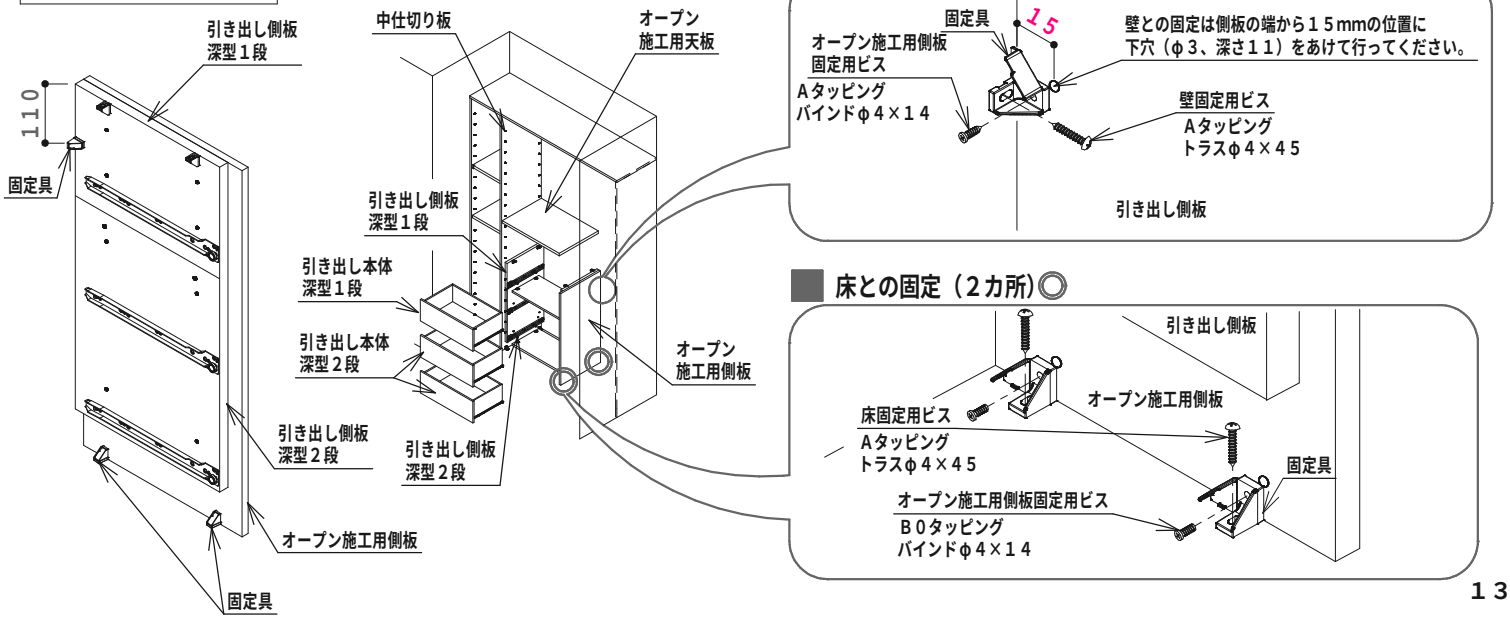


施工手順　7　引き出し用オープン施工セットの取り付け



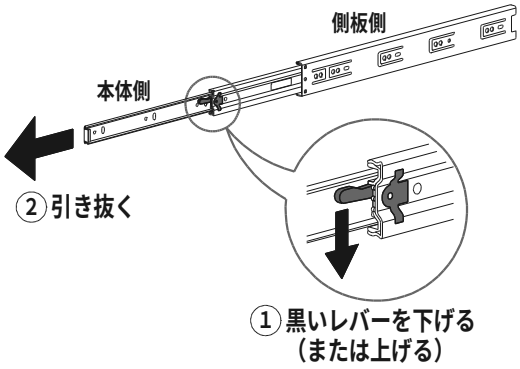
1．引き出し取り付け間口を３６０mmとする場合、オープン施工用天板を３７６mmにカットしてください。
　※引き出し取り付け間口６００mmの場合はカット不要です。
2．１２ページの施工手順６「引き出しの取り付け」を参照して側板・中仕切り板およびオープン施工用側板に引き出し側板（深型２段、深型１段各１セット）を取り付けてください。
3．下図を参照してオープン施工用側板を床・壁に固定してください。
4．１２～１３ページの施工手順６「引き出しの取り付け」を参照して引き出し底桟およびオープン施工用天板を取り付けたあと、引き出し本体をスライドレールにセットしてください。

固定具取り付け位置

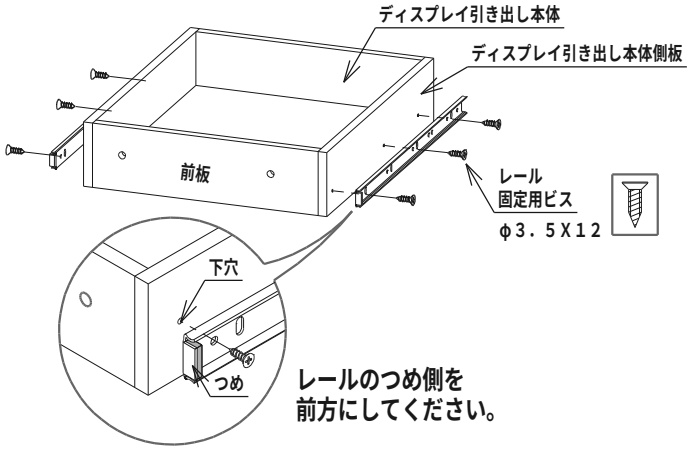


施工手順　8　ディスプレイ引き出し・ガラス天板の取り付け

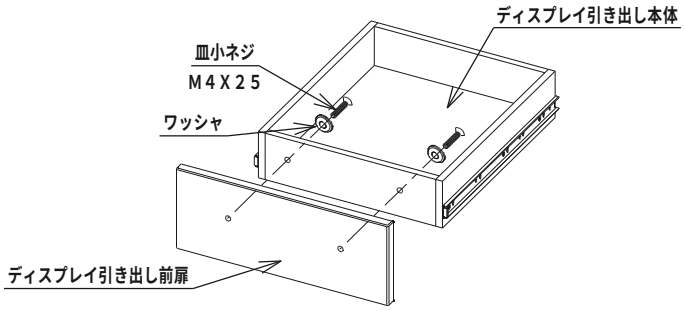
1．スライドレールを分解してください。
スライドレールを引き出し、黒いレバーを下げて（または上げて）、引き出し本体側のレールを引き抜いてください。



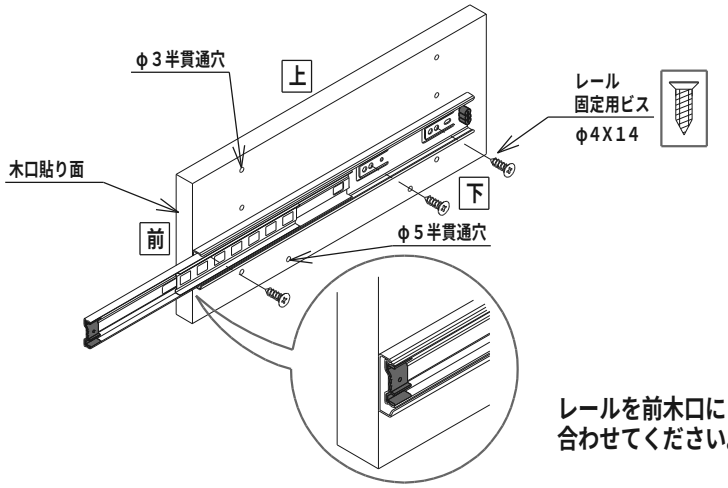
2．ディスプレイ引き出し本体に引き出し本体側のレールを取り付けてください。
ディスプレイ引き出し本体側板の下穴を利用して固定してください。



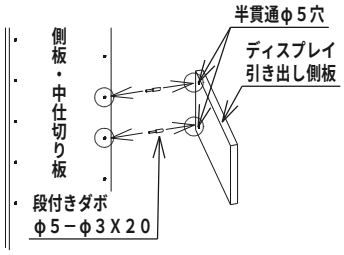
3．ディスプレイ引き出し本体とディスプレイ引き出し前扉を皿小ネジ（M4×25）で仮固定してください。



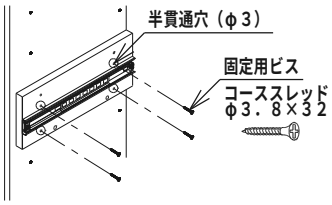
4．ディスプレイ引き出し側板に側板側のレールを取り付けてください。
ディスプレイ引き出し側板の下穴を利用して固定してください。



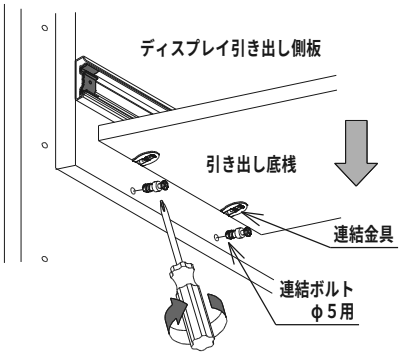
5．ディスプレイ引き出し側板の裏面の半貫通のφ5の穴に段付きダボ（φ5－φ3X20）を差し込み、側板・中仕切り板のφ3の穴2カ所に取り付けてください。



6．ディスプレイ引き出し側板が水平になっているのを確認し、半貫通穴（φ3）から側板・中仕切り板に固定用ビスで固定してください。

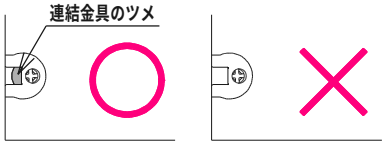


7．ディスプレイ引き出し側板のレール下のφ5穴に連結ボルトφ5用を取り付け、引き出し底桟を上から落とし込み、引き出し底桟に取り付け済みの連結金具にて固定してください。



お願い　連結金具を固定する際には、手回しドライバーをななめに差し込んでください。
連結金具が破損する恐れがあります。

強制　連結金具固定後に連結金具のツメが出ていることを確認してください。
ツメが出て固定されていないと、引き出し底桟が落下してケガをする恐れがあります。

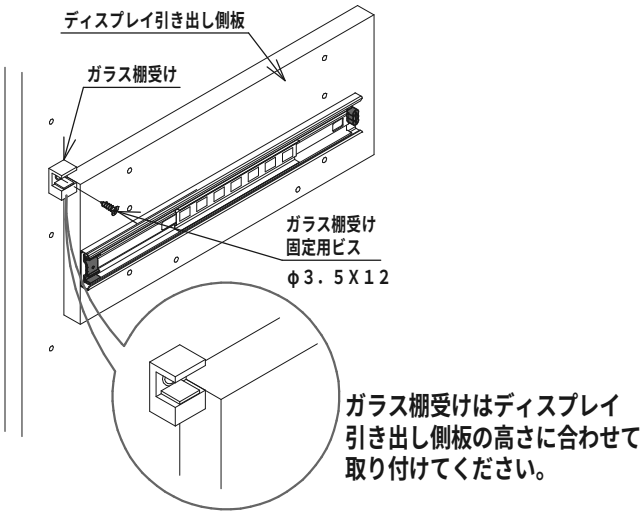


※連結金具は、時計回りに締まりきるまで回してください。

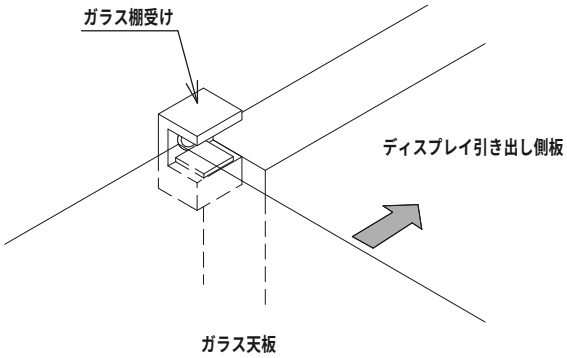
8．ガラス天板または固定棚板を取り付けてください。

ガラス天板を取り付ける場合

①下図を参照し、固定用ビス（φ３．５Ｘ１２）を使用して
ガラス棚受けを左右に取り付けてください。



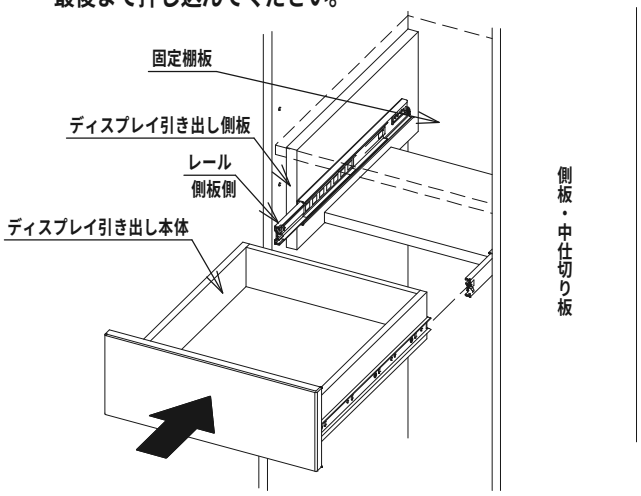
②ガラス天板を左右のガラス棚受けに差し込み、
ディスプレイ引き出し側板の奥までスライドさせてください。



固定棚板を取り付ける場合

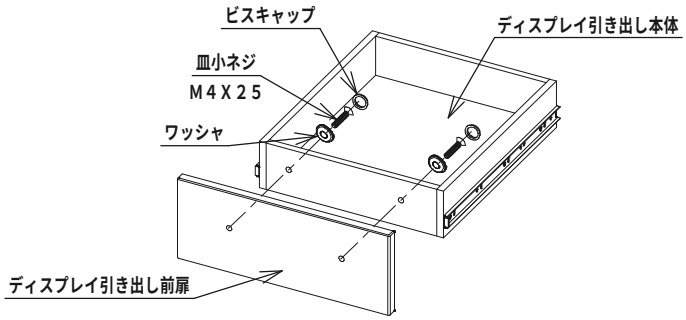
１３ページの施工手順６「引き出しの取り付け」を参照して取り付けてください。

９．レール同士を合わせながら、ディスプレイ引き出しをゆっくり
差し込んで取り付けてください。
引き出しを押し入れる際、途中から固くなりますが、少しずつ
最後まで押し込んでください。

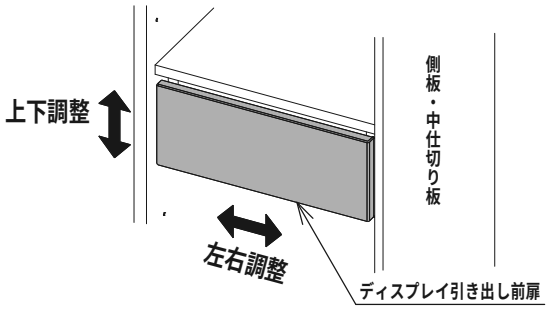


お願い　左右のスライドレールがきっちりかみ合っているか
確認してください。

１０．皿小ネジ（Ｍ４Ｘ２５）を緩め、引き出し前扉の
上下、左右を調整し、皿小ネジ（Ｍ４Ｘ２５）
を締めなおし、キャップを取り付けてください。

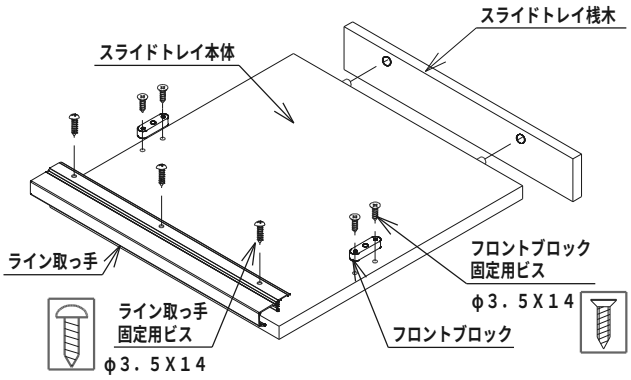


ディスプレイ引き出し前扉の上下、左右調整は±１mmずつ可能です。

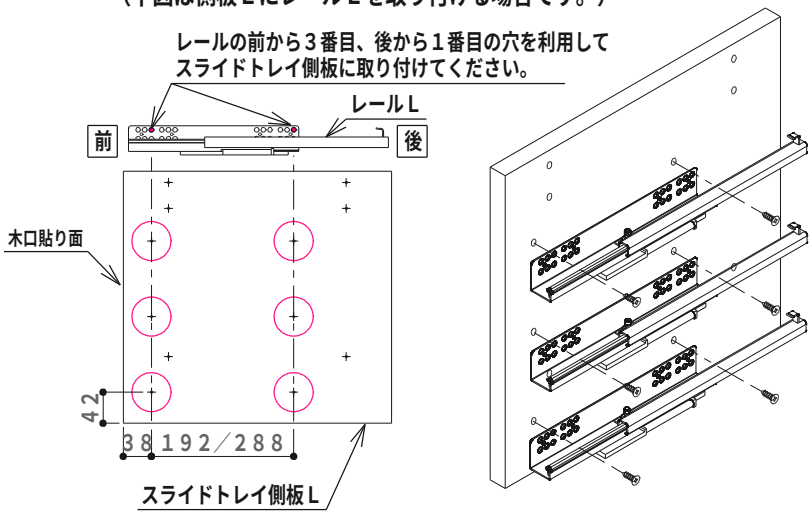


施工手順　9　スライドトレイの取り付け

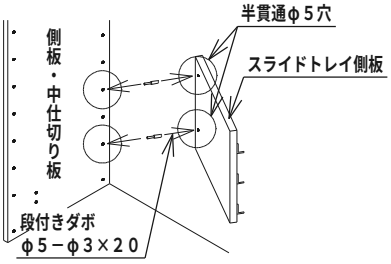
1．スライドトレイ本体の下穴を利用してライン取っ手、
フロントブロックを取り付けてください。
スライドトレイ本体と桟木を木ダボで取り付けてください。



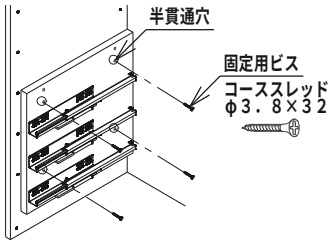
2．下図を参照し、スライドトレイ側板にレールを取り付けてください。
側板・レールにはL／Rがありますので、間違えないよう注意してください。
（下図は側板Lにレール L を取り付ける場合です。）



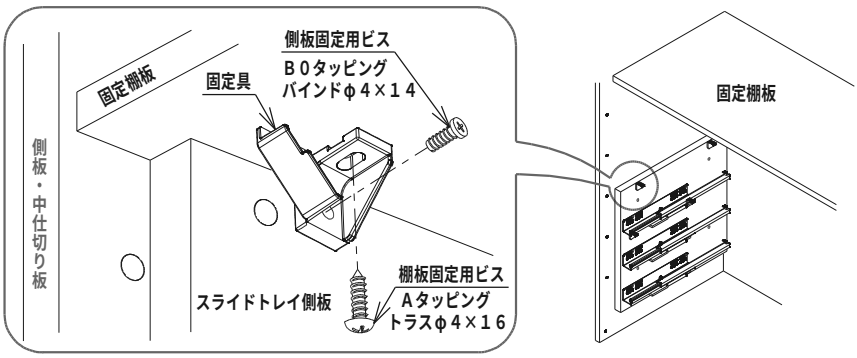
3．スライドトレイ側板の裏面のφ５半貫通穴に段付きダボ
（φ５－３Ｘ２０）を差し込み、下の段付きダボが側板・中仕切り板の
下から２番目と４番目のダボ穴に合うよう２カ所に取り付けてください。



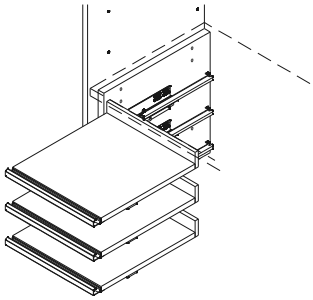
4．スライドトレイ側板が水平になっていることを確認し、
φ３半貫通穴から側板・中仕切り板に固定用ビスで固定してください。



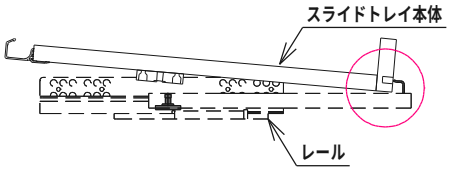
5．スライドトレイ側板の上のダボ穴（φ３）にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けたあと、固定棚板をＡタッピングにて固定してください。



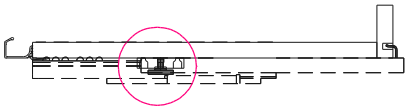
6．側板・中仕切り板に取り付けたスライドトレイ側板に
スライドトレイ本体を取り付けてください。



①桟木にあいているφ６の下穴にレールの爪部分を引っ掛けてください。



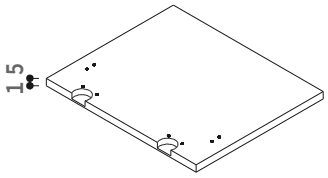
②フロントブロックの中央の穴をレールの突起部に合わせ、落としこんでください。



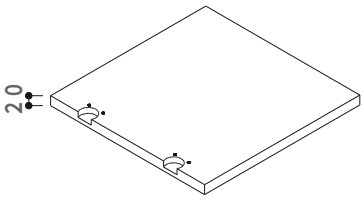
施工手順　１０　可動カウンターユニットの取り付け

部材を間違えないようご注意ください。

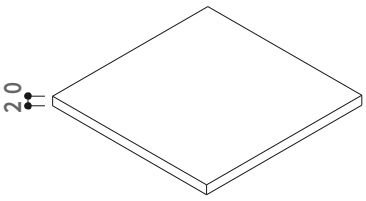
可動カウンター扉



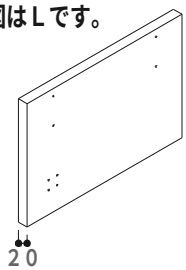
可動カウンター地板



可動カウンター棚板

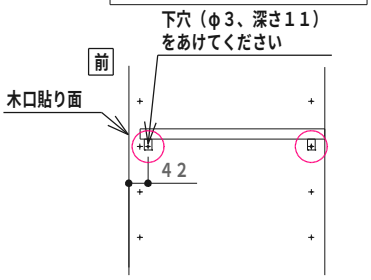


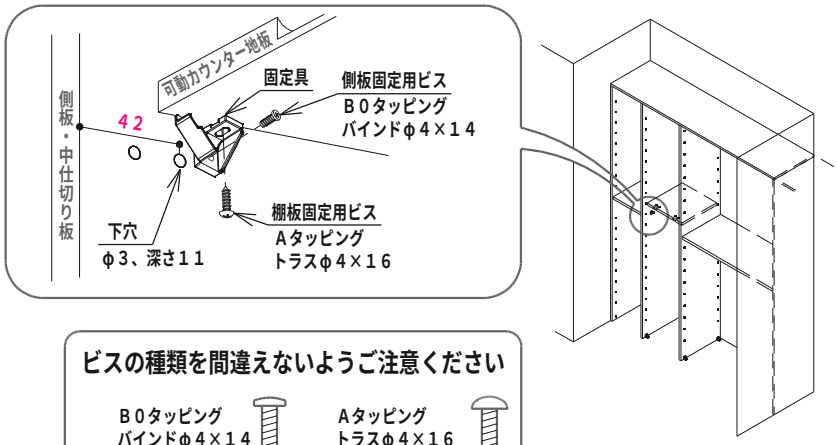
可動カウンター側板（Ｌ／Ｒ）
※下図はＬです。



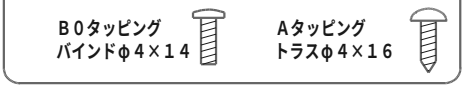
１．側板・中仕切り板に下穴φ３、深さ１１をあけて、下穴とダボ穴にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けたあと、可動カウンター地板をＡタッピングにて固定してください。

固定具取り付け位置

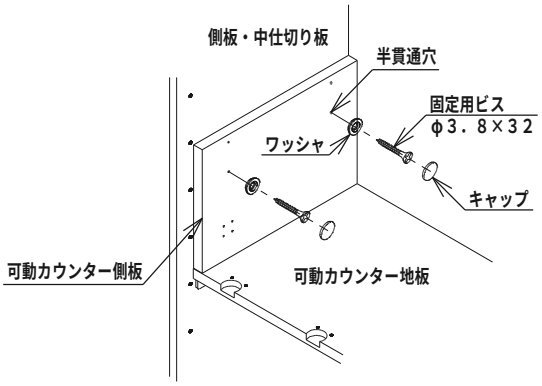




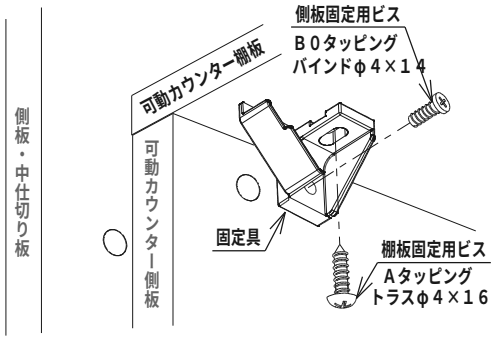
ビスの種類を間違えないようご注意ください



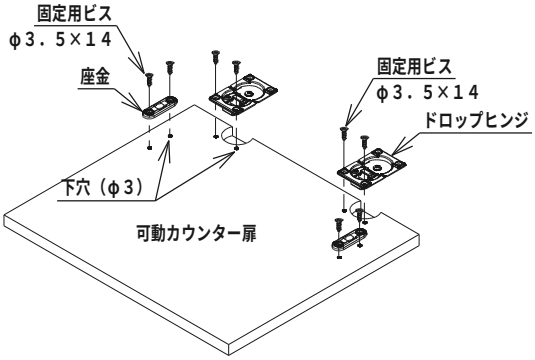
２．可動カウンター側板を可動カウンター地板の上に載せ、後端を壁面に合わせて固定用ビスで固定してください。



３．可動カウンター側板の上のダボ穴（φ３）にＢ０タッピングを使って固定具を取り付けたあと、可動カウンター棚板をＡタッピングにて固定してください。

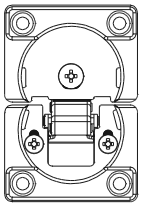


４．下穴（φ３）を利用して可動カウンター扉にドロップヒンジ、座金を取り付けてください。



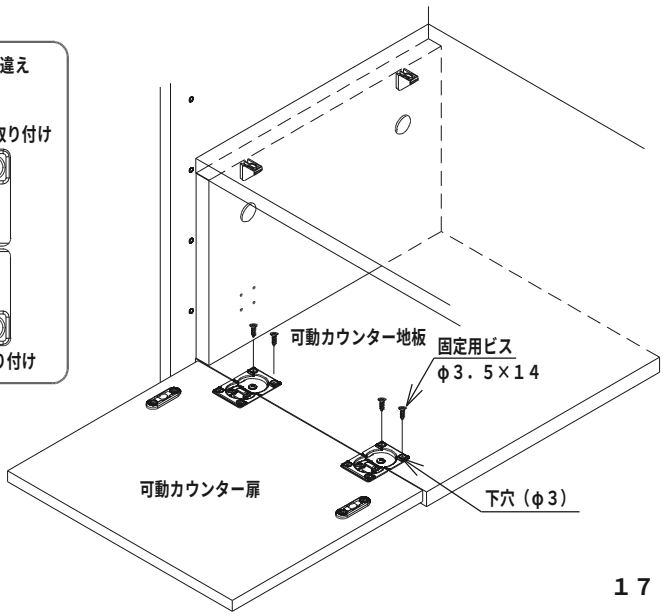
ドロップヒンジの向き間違えないようご注意ください

可動カウンター地板に取り付け

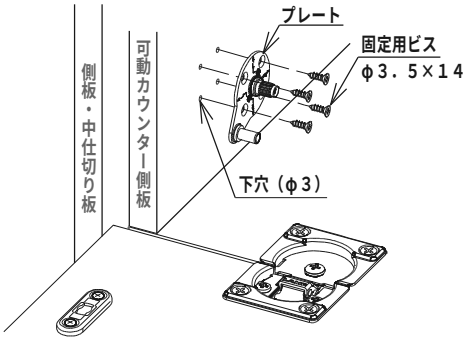


可動カウンター扉に取り付け

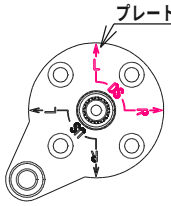
５．下穴（φ３）を利用して可動カウンター扉を可動カウンター地板に取り付けてください。



6．下穴（φ3）を利用して可動カウンター側板にプレートを取り付けてください。



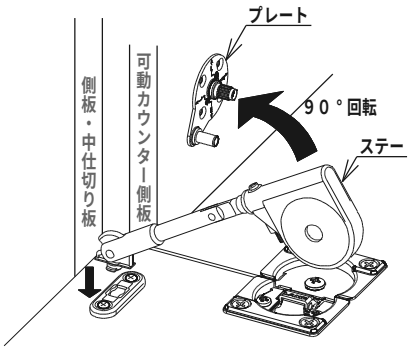
プレートの向きを間違えないようご注意ください

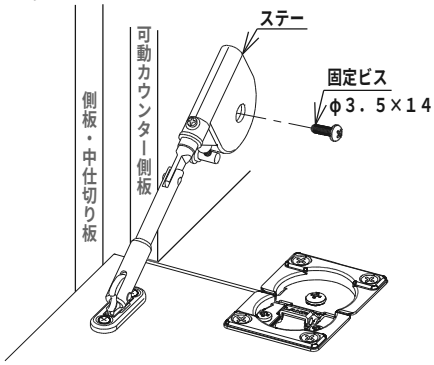


※プレートの刻印を目安として取り付けてください。
<可動カウンター側板R（向かって右側）に取り付ける場合>
ＤＳ側のＲの矢印を垂直方向真上に向け取り付けてください。
<可動カウンター側板Ｌ（向かって左側）に取り付ける場合>
ＤＳ側のＬの矢印を垂直方向真上に向け取り付けてください。

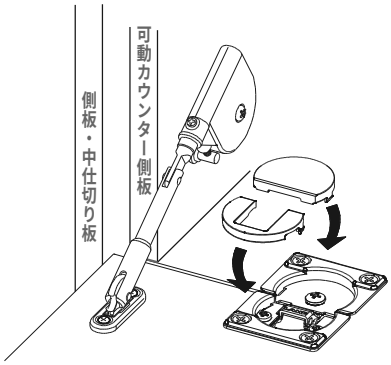
※左図は可動カウンター側板Ｌ（向かって左側）の取り付け向きです

7．ステーを座金にはめ込み、９０°回転させてプレートの軸にはめ込んでください。
そのあと、ステーを固定ビスで固定してください。

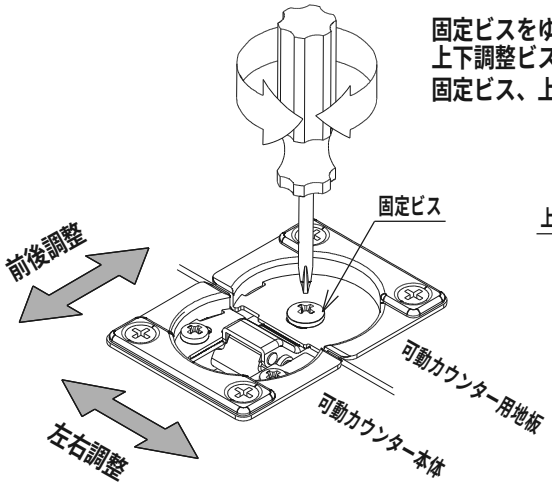




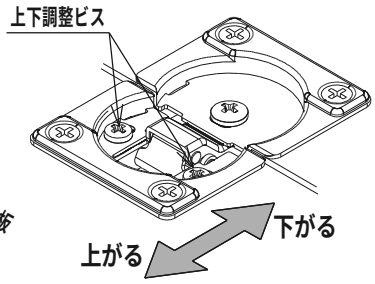
8．ドロップヒンジにカバーを取り付けてください。



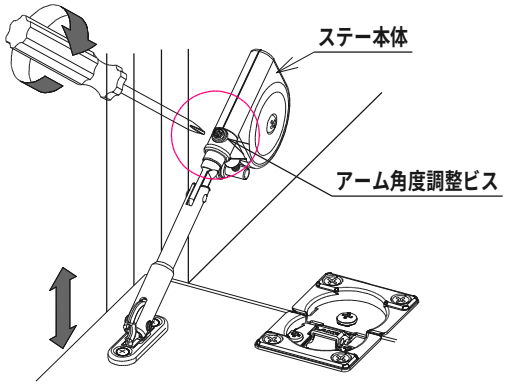
可動カウンターの調整



固定ビスをゆるめて前後・左右の調整を、
上下調整ビスを緩めて上下の調整を行い、
固定ビス、上下調整ビスをしっかりしめてください。

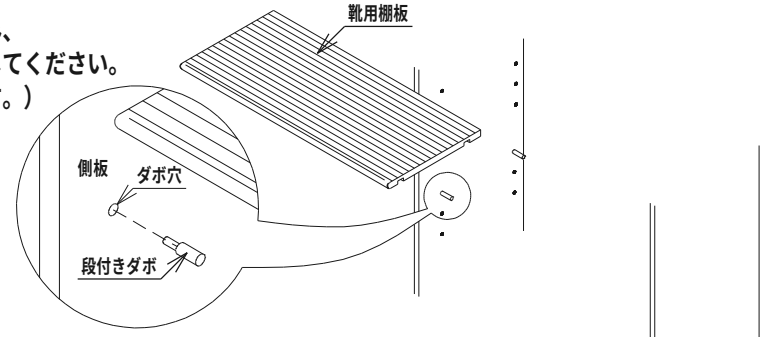


可動カウンターを開いたときにアームがまっすぐになるように調整してください。



施工手順　１１　靴用棚板の取り付け

段付きダボを側板・中仕切り板のダボ穴に差し込み、
靴用棚板の溝部分が段付きダボに載るように設置してください。
（靴用棚板１枚につき段付きダボは４本使用します。）

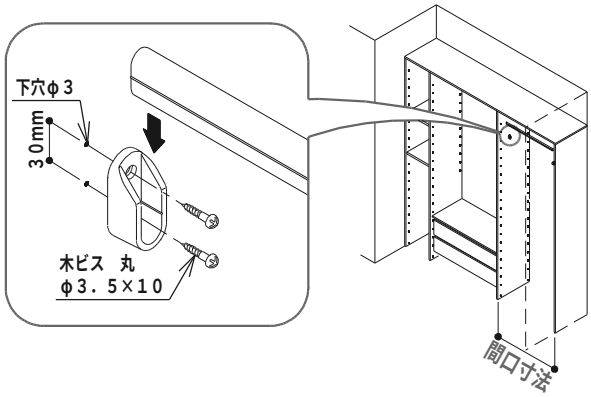


靴用棚板には前後があります。面の丸い方が前です。

施工手順　１２　ハンガーパイプの取り付け

同梱の取り付けビス（φ３．５Ｘ１０）にて
パイプ受けを３０ピッチのφ３の下穴に取り付け、
パイプをしっかり落とし込んでください。
※下穴のない位置に取り付ける場合は右図を参考に下穴（φ３）をあけてください。

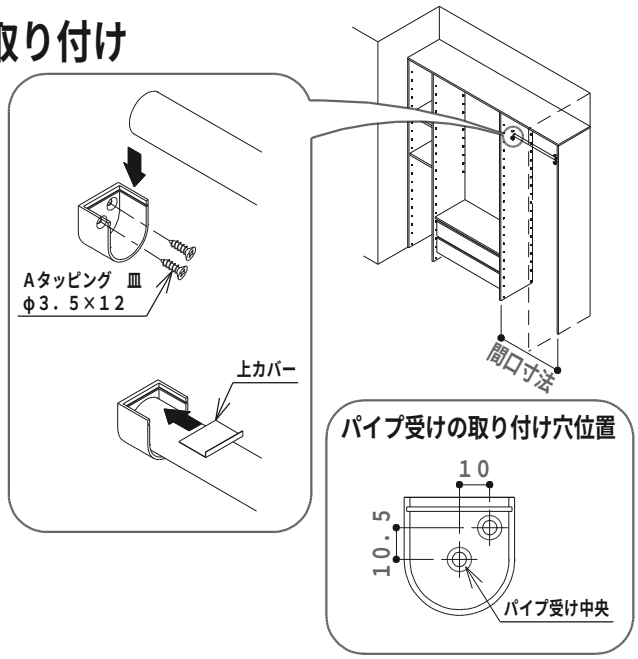
※ハンガーパイプは現場にてカットする場合
（間口寸法－１２mm）でカットしてください。
※ハンガーパイプはアルミ製です。
　金属切断用ののこぎりなどの工具を使用してカットしてください。



施工手順　１３　ハンガーパイプ（高荷重用）の取り付け

右図のパイプ受けの取り付け穴位置を参考に下穴φ３をあけて
同梱の取り付けビス（φ３．５Ｘ１２）にてパイプ受けを取り付け、
パイプをしっかり落とし込んでください。
パイプを落とし込んだあと、パイプ受けにカバーを取り付けてください。

※ハンガーパイプ（高荷重用）は現場にてカットする場合
（間口寸法－１０mm）でカットしてください。
※ハンガーパイプ（高荷重用）はステンレス巻鉄パイプです。
　パイプカッターなどの工具を使用してカットしてください。



６．施工後の確認

	確　認　内　容	チェック欄
1	側板・ショート側板・中仕切り板・追加仕切り板の水平・垂直は出ていますか。	
2	側板・ショート側板・中仕切り板・追加仕切り板は壁・床に確実に取り付けられていますか。	
3	各ビスの締め忘れはないですか。	
4	部材のガタつきはありませんか。	
5	各列に１枚以上固定棚板が設置されていますか、下記の場合には必ず必要です。	
	１．　中央の列にハンガーパイプを取り付けた場合 ・・・パイプの上部に固定棚板がないとパイプが外れる恐れがあります。	
	２．　引き出し・スライドトレイを設置した場合・・・固定棚板が引き出しの天板となります。	
	３．　片側オープンの場合 ・・・オープン側の列に固定棚板がないと倒壊の恐れがあります。	
6	引き出しはスムーズに開閉できますか。	
7	コーナー用連結金具を使用した場合、天板のコーナー部分は水平に取り付けらていますか。	

■吊り施工の場合は下記の点を確認してください　。

8	下記の部材の固定に吊り施工用固定金具を使用していますか。	
	１．　吊り施工用中仕切り板と壁の固定	
	２．　片側オープンになる側板と壁の固定	
	３．　側板・中仕切り板と吊り施工用固定棚板の固定	
9	各列の中央・最下段に固定棚板が設置されていますか。	
１０	吊り施工用固定棚板は製品の納め方に合った固定方法になっていますか。	

７．清掃と養生

・施工後の清掃は、柔らかい布で乾拭きしてください。決して　酸性・アルカリ性の洗剤や溶剤（シンナー、ベンジン）などは使用しないでください。
・当て傷や、擦り傷が付かないように、保護シート等で養生してください。

8．取扱説明書

このページは取扱説明書です。お施主様が安全にご使用いただくための注意事項を記載しておりますので、必ずお渡しください。

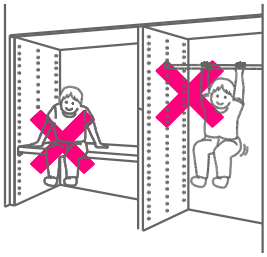
安全にお使いいただくために

ケガや事故防止のために、必ず以下のことをお守りください。

製品に登ったり、乗ったり、ぶらさがったりしない。

禁止

脱落や損傷により、ケガをする恐れがあります。
特に小さなお子様には充分ご注意ください。



ぬれたまま収納しない

禁止

雨具などは、ぬれたまま収納しないでください。
ぬれたままにしますと、木部に水を含み
傷んだり膨れの原因になりますので、
しっかりと水分を拭き取ってください。

熱源を近づけない

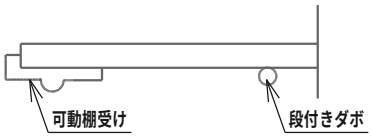
禁止

ストーブやヒーターなどの暖房機器や熱価
の高い電灯などを製品に近づけすぎますと、
変形・変色・火災発生の恐れがあり危険です。
特にウォークインタイプの場合は、内部に
絶対に置かないでください。

可動棚板のセットはしっかり確実に

強制

可動棚板を再びセットする際には、図のように可動棚板を専用の
可動棚受けおよび段付きダボにしっかりと載せてください。
可動棚受けおよび段付きダボにしっかりと載っていないと、
棚の落下などにより破損・ケガの恐れがあり危険です。



シールやテープ類を貼らない

禁止

接着剤で表面が侵されます。
また、はがした後に汚れが残る恐れが
ありますので貼らないでください。

お手入れは乾いた柔らかい布で乾拭きを

強制

化学雑巾をお使いになる際には、雑巾の注意書きに
従ってお使いください。決して熱湯をかけたり、
ベンジンやシンナー、みがき粉などを使わない
でください。変形・変色の恐れがあります。

不具合箇所は無理に直さない

お願い

使用中に異常が感じられたり不具合が生じた場合、
金具や部品を分解したり、無理に直そうとしますと、
落下・破損によりケガをする恐れがあります。
施工業者までご連絡またはご相談ください。

直射日光に長時間さらさないでください

お願い

反り・変色・ヒビ割れなどの原因になります。
カーテンやブラインド等で極力直射日光を避けてください。

棚板を水洗いした後は必ず陰干しを

強制

棚板はまるごと水洗いすることができます。
（樹脂製の靴用棚板のみ）
カビ予防および変形・変色防止のため、
水洗い後は必ず陰干しをして取り付けてください。

重量物を収納しない

禁止

重量物を載せますと変形、破損、
落下によりケガをする恐れが
ありますのでやめてください。

部材名	奥行	間口	耐荷重（kg）
固定棚板 可動棚板	300	360	6
		600	10
		900	15
	400	360	8
		600	13
		900	20
	600	360	12
		600	20
		900	30
天板 （1Mあたり）	300	－	7
	400	－	10
	600	－	12
ワイド棚板	300	1350	22
	400	1350	30
	600	1350	45
靴用棚板	300	360	2
		600	3
		900	4

部材名	奥行	間口	耐荷重（kg）
引き出し（浅型） （1段あたり）	300	360	1
		600	1
		900	2
	400	360	1
		600	2
		900	3
	600	360	1
		600	2
		900	4
引き出し（深型） （1段あたり）	400	360	2
		600	4
		900	7
	600	360	3
		600	5
		900	7
引き出し用 オープン施工セット （天板）	400	600	13
	600	600	20
スライドトレイ （1段あたり）	600	600	3
ディスプレイ引き出し	－	－	2
ガラス天板	－	－	5

部材名	奥行	間口	耐荷重（kg）
可動カウンターユニット （カウンター扉）	－	－	5
可動カウンターユニット （地板）	400	360	3
		600	8
可動カウンターユニット （棚板）	400	360	8
		600	13
ハンガーパイプセット	－	360	6
	－	600	10
	－	900	16
ハンガーパイプセット （高荷重用）	－	360	9
	－	600	15
	－	900	24
	－	1350	36
ハンギングバー	－	180	3
	－	460	7
	－	800	14
ハンギング長押	－	810	5
	－	1200	7
バスケットセット	－	－	2
ネクタイハンガー	－	－	2
スライドコートハンガー	－	－	3
3連フック	－	－	2

※サイズ表記が無いものは全サイズ共通の耐荷重となります。

永大産業株式会社
http://www.eidai.com
内装システム事業部

お客様相談センター
0120－685－110
受付時間 平日 9：00～18：00 土曜日 9：00～18：00
休業日 日曜日・祝日・夏期休暇・年末年始
E-mail:cs@eidai-sangyo.co.jp

取り付け・修理・補修部品などのご相談は、販売会社・
管理会社もしくはお求めの販売店へお問い合わせください。